

第1 30周年記念特集

1 業績

- 1 講演発表 (1994～2002)
- 2 論文発表 (1994～2002)

1 講演発表

平成5年度

- 1 北九州市における粉じん中の成分組成の変遷について；今泉五和男・大和康博・江口征夫・中井一宏：第20回環境保全・公害防止研究発表会（広島県）平成5年11月
- 2 大気中における有機塩素系農薬について；北村江理・原口公子・貴戸東・中井一宏：第40回福岡県公衆衛生学会（福岡市）平成5年6月
- 3 集団下痢事件から分離された毒素原性大腸菌について；加野成明・坂田和歌子・杉嶋伸禄：第40回福岡県公衆衛生学会（福岡）平成5年5月
- 4 北九州市内で検出された毒素原性大腸菌（血清型O169：H41）について；加野成明・坂田和歌子・下原悦子・杉嶋伸禄：第19回九州衛生公害技術協議会（那覇）平成5年11月
- 5 鶏肉中のリステリア菌の検出方法について -増菌培地の検討-；加野成明：第52回日本公衆衛生学会総会（北九州）平成5年10月
- 6 平成4年度の北九州市におけるインフルエンザの流行状況について；下原悦子・仮屋園弘志・中村悦子・杉嶋伸禄：第40回福岡県公衆衛生学会（福岡）平成5年5月
- 7 小児急性胃腸炎のウイルス学的病原検索Ⅱ；仮屋園弘志・中村悦子・下原悦子・杉嶋伸禄・佐久間孝久（佐久間小児科）・橋爪広好（橋爪小児科）：第63回日本感染症学会西日本地方会総会（長崎）平成5年11月
- 8 ポリカーボネート製食器より溶出するビスフェノールAの分析；桃園裕子・石橋正博：第30回全国衛生化学技術協議会（熊本）平成5年10月
- 9 電子顕微鏡による食品中の異物検査(塩うに中の白色小塊及び漬物中の毛状物質について)；北村尚男・石橋正博・山田 傑・桃園裕子：第40回福岡県公衆衛生学会（福岡）平成5年5月
- 10 食品中の残留農薬分析法について～市販 ELISA 分析キットの検討～；山口新一・寺師朗子・進藤紀子・衛藤修一：第40回福岡県公衆衛生学会（福岡）平成5年5月
- 11 GC/MSを用いた食品中の農薬分析（第3報）；寺師朗子・進藤紀子・山口新一・衛藤修一：日本食品衛生学会第66回学術講演会（仙台）平成5年10月
- 12 食品中のパラコート分析法について；進藤紀子・寺師朗子・山口新一・衛藤修一：第30回全国衛生化学技術協議会（熊本）平成5年10月
- 13 冷凍や最中の残留農薬分析結果；寺師朗子・衛藤修一・苗床義隆（門司農林水産消費技術センター）：第19回九州衛生公害技術協議会（那覇）平成5年11月
- 14 産業廃棄物中の化学物質の検索；石川精一・中村悦子・末富良次・城戸浩三：第2回環境化学討論会（東京都）平成5年6月
- 15 底質中化学物質の検索結果について～東京湾と洞海湾の比較～；花田喜文・門上希和夫・城戸浩三・白石

寛明（国立環境研究所）：第2回環境化学討論会（東京都）平成5年6月

- 16 親水施設における魚のへい死事故について；末富良次・佐藤健司・門上希和夫・城戸浩三・石川精一：(1)第40回福岡県公衆衛生学会(2)第52回日本公衆衛生学会（(1)福岡市(2)北九州市）(1)平成5年4月(2)平成5年10月
- 17 The recovery of the marine bottom environment of Dokai Bay, Japan；Naoko Ueda, Machiko Yamada, Ryouji Takeuchi, Kozo Kido, Hiroaki Tsutsumi (Kumamoto Women's University)：International Conference on Environmental Management of Enclosed Coastal Seas '93 (Baltimore) November, 1993
- 18 洞海湾および宇佐で最近発見された外来種 POLYANDROCARPA ZORRITENSIS (VAN NAME)；西川輝昭(名古屋大学)・梶原葉子・川村和夫(高知大学)：日本動物学会第64回大会（沖縄市）平成5年11月
- 19 紫川河口域生態調査(魚類)について；梶原葉子・安田祐司・竹内良治・山田眞知子・城戸浩三：第19回九州衛生公害技術協議会（那覇市）平成5年11月
- 20 リテンションギャップ法を用いた揮発性有機化学物質の分析；花田喜文・門上希和夫・馬場謙三・城戸浩三：第19回九州衛生公害技術協議会（那覇市）平成5年11月
- 21 廃棄物中の金属類および化学物質の分析：いくつかの廃棄物について元素組成の比較と化学物質の検索；末富良次・馬場謙三・城戸浩三・石川精一（下水道局）：第20回環境保全・公害防止研究発表会（広島市）平成5年11月
- 22 産業廃棄物中の化学物質の検索；石川精一・江口芳夫・末富良次・中村悦子・城戸浩三：第4回廃棄物学会（東京都）平成5年11月
- 23 GC/MSを用いた有機リン酸エステル類の分析法の検討；佐藤健司・門上希和夫・城戸浩三：第28回水環境学会年会（宇都宮市）平成6年3月

平成6年度

- 1 都市大気中の低沸点有機成分の分布；貴戸東・徳原賢・北村江理・安田和彦：第33回大気汚染学会（盛岡市）平成6年11月
- 2 悪臭防止法に新規対象物質として指定された有機溶剤系物質（イソブタノール等）について；北村江理・貴戸東・徳原賢・江口征夫・安田和彦：第20回九州衛生公害技術協議会（熊本市）平成6年11月
- 3 THE OCCURRENCE OF ENTERITIS CAUSED BY ENTEROTOXIGENIC ESCHERICHIA COLI (ETEC) O169: H41 IN KITAKYUSHU CITY;加野成明・坂田和歌子・下原悦子：The 2nd Japan-Korea International Symposium on Microbiology(福岡)平成6年10月
- 4 コレラについて；加野成明・坂田和歌子・下原悦子：第20回九州衛生公害技術協議会（熊本）平成6年1

- 1月
- 5 九州地区における無菌性髄膜炎起因ウイルスの動向について；小野哲郎（大分県衛生環境研究センター）・下原悦子・仮屋園弘志・他18名；第68回日本感染症学会総会（長崎）平成6年4月
 - 6 1992年の北九州市における腸管系ウイルスの流行状況について；下原悦子・仮屋園弘志・中村悦子；第41回福岡県公衆衛生学会（福岡）平成6年5月
 - 7 RT-PCR法を用いたSRSVの検出；宇田川悦子・井上栄（国立予研感染症疫学部）・仮屋園弘志・他4名；第35回日本臨床ウイルス学会（大阪）平成6年6月
 - 8 感染性胃腸炎特にsmall round virusの臨床像；佐久間孝久（佐久間小児科）・仮屋園弘志・下原悦子・中村悦子；第5回日本小児科医会生涯教育セミナー（東京）平成6年6月
 - 9 小児下痢症からのロタウイルスの検索；仮屋園弘志；平成6年度日本獣医公衆衛生学会九州地区学会（宮崎）平成6年10月
 - 10 小児急性胃腸炎のウイルス学的病原検索；仮屋園弘志・中村悦子・下原悦子・中井一宏・佐久間孝久（佐久間小児科）・橋爪広好（橋爪小児科）；第64回日本感染症学会西日本地方会総会（倉敷）平成6年11月
 - 11 フォトダイオードアレイ検出器を用いた合成および天然着色料の同一移動相での分析について；山田傑・石橋正博；第20回九州衛生公害技術協議会（熊本）平成6年11月
 - 12 魚介乾製品（いわしの丸干し）の製造工程における酸価・過酸化価と高度不飽和脂肪酸（EPA,DHA等）の消長について；北村尚男・山田 傑・桃園裕子・石橋正博・中井一宏；第20回九州衛生公害技術協議会（熊本）平成6年11月
 - 13 ポリカーボネート製食器から溶出する物質の分析について；真島裕子・石橋正博；第31回全国衛生化学技術協議会（東京）平成6年11月
 - 14 牛乳中のペニシリン系抗生物質のプレカラム誘導体化による高速液体クロマトグラフィー分析；真島裕子・石橋正博；第20回九州衛生公害技術協議会（熊本）平成6年11月
 - 15 GC-FPDを用いた農産物中の有機スズ系農薬の分析法について；進藤紀子・寺師朗子・山口新一・衛藤修一・中井一宏；第41回福岡県公衆衛生学会（福岡）平成6年5月
 - 16 GC-NPD及びGC/MSによる農産物中のマレイン酸ヒドラジド分析法；寺師朗子・山口新一・山本昌平・衛藤修一・中井一宏；日本食品衛生学会第68回学術講演会（千葉）平成6年10月
 - 17 小麦及び大豆製品中の有機リン系農薬分析；寺師朗子・衛藤修一・立石洋暢（門司農林水産消費技術センター）；第20回九州衛生公害技術協議会（熊本）平成6年11月
 - 18 ELISA法による食品中の残留農薬分析（その2）～パラコート分析の検討～；山口新一・山本昌平・衛藤修一；第31回全国衛生化学技術協議会（東京）平成6年11月
 - 19 洞海湾における栄養塩の現況；杉嶋伸祿・山田真知子・笈秀美；第41回福岡県公衆衛生学会（福岡市）平成6年5月
 - 20 おいしい水の尺度作り；永富孝則；第45回全国全国水道研究発表会（仙台市）平成6年5月
 - 21 イオントラップ型GC/MSを用いた300種の水中微量化学物質の一斉分析；門上希和夫・佐藤健司・花田喜文・馬場謙三；第3回環境化学討論会（大阪市）平成6年6月
 - 22 上向流式生物活性炭処理の高度処理への導入に関する研究；伊豆智啓；第1回アクア研究センター研究発表会（北九州市）平成6年7月
 - 23 おいしい水の尺度作り；永富孝則・武富眞・安本義信；第1回アクア研究センター研究発表会（北九州市）平成6年7月
 - 24 脱水分離液からのリン削減と肥料としての資源化について；奥村裕司；第1回アクア研究センター研究発表会（北九州市）平成6年7月
 - 25 洞海湾生態系の再生と今後の課題；山田真知子；第1回アクア研究センター研究発表会（北九州市）平成6年7月
 - 26 下水道の技術開発研究について；神代和幸；第1回アクア研究センター研究発表会（北九州市）平成6年7月
 - 27 イオントラップ型GC/MSを用いた300種の水中微量化学物質の一斉分析；門上希和夫；第1回アクア研究センター研究発表会（北九州市）平成6年7月
 - 28 返流水（脱水分離液）からのリン削減について；奥村裕司・神代和幸・木村尚志；第31回全国水道研究発表会（神戸市）平成6年7月
 - 29 洞海湾の植物プランクトンの分布に及ぼす栄養塩環境-1993年夏；山田真知子・梶原葉子・門谷茂（香川大学）；1994年日本海洋学会秋季大会（松山市）平成6年10月
 - 30 過栄養内湾域（洞海湾）における海域環境特性；門谷茂（香川大学）・広谷純（香川大学）・山田真知子・上田直子；1994年日本海洋学会秋季大会（松山市）平成6年10月
 - 31 洞海湾における栄養塩の現況；杉嶋伸祿・山田真知子・笈秀美；第53回日本公衆衛生学会（鳥取市）平成6年10月
 - 32 紫川河口域の底生生物の分布；上田直子・山田真知子・堤裕昭（熊本県立大学）・明石久見（熊本県立大学）・林田千恵美（熊本県立大学）；第8回日本ベントス学会（函館市）平成6年10月
 - 33 洞海湾における付着生物の出現状況；梶原葉子・山田真知子；第8回日本ベントス学会（函館市）平成6年10月
 - 34 北九州市の水環境中の微量化学物質（300種）の汚染実態調査について；佐藤健司・門上希和夫・花田喜文・杉嶋伸祿・篠原亮太；第20回九州衛生公害技術協議会（熊本市）平成6年11月

- 35 全国 6 地域における環境中の化学物質検索調査結果；花田喜文；第 12 回環境化学セミナー（所沢市）平成 7 年 3 月
- 36 8 種類のアルコールの分析法開発；佐藤健司；第 12 回環境化学セミナー（所沢市）平成 7 年 3 月
- 37 「GC/MS 環境中化学物質検索データベース検討調査」の概要と今後の課題；門上希和夫；第 12 回環境化学セミナー（所沢市）平成 7 年 3 月
- 38 北九州地方を流れる遠賀川水系における微量化学物質（266 種）調査について；佐藤健司・永富孝則・門上希和夫・花田喜文・篠原亮太；第 29 回日本水環境学会年会（広島市）平成 7 年 3 月

平成 7 年度

- 1 GC/MS を用いた空気試料中ベンゼン系化合物の微量分析法の検討；松岡靖史・花田喜文・貴戸東・江口征夫・安田和彦；第 42 回福岡県公衆衛生学会（福岡市）平成 7 年 5 月
- 2 北九州市における硫黄酸化物の乾性および湿性沈着量に関する検討；今泉五和男・江口征夫・安田和彦；第 36 回大気環境学会（東京）
- 3 IGAC 調査(11)九州・沖縄地方の粒子状物質の特性；大和康博・その他 11 名；第 36 回大気環境学会（東京）
- 4 北九州市における表流水への酸性雨影響調査；安田和彦；全国環境保全・公害防止技術研究発表会（横浜市）
- 5 悪臭物質の一斉分析法の検討—有機溶剤系及びアルデヒド系物質—；徳原賢・貴戸東・安田和彦；第 36 回大気環境学会（東京）
- 6 北九州市における低沸点塩素系化合物の調査；徳原賢・貴戸東・安田和彦；第 11 回全国環境・国立環境研究所シンポジウム（つくば）平成 8 年 1 月
- 7 北九州市における冷却塔のレジオネラ調査について（第 1 報）；柴田美和子・小松雄幸・東 仁司・加野成明・坂田和歌子・下原悦子；第 42 回福岡県公衆衛生学会（福岡）平成 7 年 5 月
- 8 九州地方における最近 4 年間の臨床分離株、A 群溶血レンサ球菌の血清型別と薬剤感受性について（1991～1994 年）；瀧 祐一・帆足喜久雄・出 美規子・古賀由恵・仲宗根民男・加野成明；レンサ球菌感染症研究会第 28 回学術講演会（東京）平成 7 年 6 月
- 9 1994 年 3 月より 10 月までの発熱性感冒様疾患のウイルス学的検索と臨床（第 1 報）；佐久間孝久（佐久間小児科）・中村悦子・下原悦子；第 384 回日本小児科学会福岡地方会例会（福岡）平成 7 年 4 月
- 10 平成 6 年度の北九州市におけるインフルエンザの流行状況について；下原悦子・中村悦子・仮屋園弘志・江口征夫；第 42 回福岡県公衆衛生学会（福岡）平成 7 年 5 月、第 54 回日本公衆衛生学会（山形）平成 7 年 10 月
- 11 下水からのレオウイルスの検出および住民の抗体保有状況；仮屋園弘志・中村悦子・下原悦子・中井一宏；第 42 回福岡県公衆衛生学会（福岡）平成 7 年 5 月
- 12 北九州地区の 1994 年 12 月～1995 年 3 月おインフルエンザウイルスの分離と臨床；佐久間孝久（佐久間小児科）・中村悦子・下原悦子；第 384 回日本小児科学会福岡地方会例会（福岡）平成 7 年 10 月
- 13 縮合リン酸塩の 1 日摂取量とそれに影響する食品；石橋正博・山田 傑・北村尚男・真島裕子；第 1 回日本食品化学学会学術大会（東京）平成 7 年 7 月
- 14 鮮魚介類に使用された天然色素の同定について；北村尚男・石橋正博；第 1 回日本食品化学学会学術大会（東京）平成 7 年 7 月
- 15 電子顕微鏡による食品中の異物の同定；北村尚男・真島裕子・山田 傑・石橋正博；第 3 2 回全国衛生化学技術協議会年会（秋田）平成 7 年 11 月
- 16 加工食品からのリン酸塩の 1 日摂取量；石橋正博・山田 傑・北村尚男・真島裕子；第 21 回九州衛生公害技術協議会（福岡）平成 7 年 11 月
- 17 水蒸気蒸留による農産物中のダラボン等の分析法の検討；山本昌平・山口新一・衛藤修一・石橋正博・中井一宏；第 21 回九州衛生公害技術協議会（福岡）平成 7 年 11 月
- 18 ELISA 法を用いた食品中の残留農薬分析（その 3）；山口新一・衛藤修一・山本昌平・山田 傑・中井一宏；第 3 2 回全国衛生化学技術協議会年会（秋田）平成 7 年 11 月
- 19 Improvement of Environmental Condition in Dokai Bay, Kitakyushu City, Japan；山田真知子；海洋環境に関する第 1 次韓国—カナダ共同シンポジウム（ソウル市）平成 7 年 5 月
- 20 おいしい水の尺度作り；永富孝則・安本義信・伊豆智啓・入江隆司；第 42 回福岡県公衆衛生学会（福岡市）平成 7 年 5 月
- 21 上向流式生物接触ろ過の高度処理への導入に関する研究；伊豆智啓・永富孝則・入江隆司・武富眞・安本義信；第 46 回全国全国水道研究発表会（千葉市）平成 7 年 5 月
- 22 遠賀川の水質特性について；入江隆司・永富孝則・伊豆智啓；第 46 回全国全国水道研究発表会（千葉市）平成 7 年 5 月
- 23 水道水源及び浄水処理における化学物質調査；永富孝則・佐藤健司・伊豆智啓・入江隆司；第 46 回全国全国水道研究発表会（千葉市）平成 7 年 5 月
- 24 北九州市における地下水の安全性総合調査；野村義夫・馬場謙三・門上希和夫・谷崎定二・末富良次・岩村幸美・崎野始；第 4 回環境化学討論会（つくば市）平成 7 年 6 月
- 25 環境分析のためのマススペクトルデータの収集とマススペクトルファイルコンバータの開発；剣持堅志（岡山県環境保健センター）・鈴木茂（川崎市公害研究所）・門上希和夫・中野武（兵庫県公害研究所）・安原昭夫（国立環境研究所）；第 4 回環境化学討論会（つくば市）平成 7 年 6 月
- 26 日本における地域環境改善の事例と地球環境問題に

- 対する企業の責任と課題；篠原亮太：韓国環境法学会国際シンポジウム（ソウル市）平成7年6月
- 27 Recent Trends in the Analysis of Trace Organic Compounds Present in the Aquatic Environment；篠原亮太：中日環境分析化学検討会（台北市）平成7年6月
- 28 水道水源および浄水処理における化学物質調査；永富孝則：第2回アクア研究センター研究発表会（北九州市）平成7年7月
- 29 洞海湾における赤潮と水理学的一考察；山田真知子・東輝明・上田直子：第2回アクア研究センター研究発表会（北九州市）平成7年7月
- 30 Simultaneous Determination of 285 Chemicals in Water at ppt Levels by GC-Ion Trap Mass Spectrometry；門上希和夫・佐藤健司・古賀実（産業医科大学）・篠原亮太：Asianalysis III（ソウル市）平成7年8月
- 31 マイクロ固相抽出法（SPME）-GC/MSによる環境水中の微量水溶性アルコールの迅速定量；佐藤健司・門上希和夫・杉嶋伸録・篠原亮太：第44回日本分析化学会年会（札幌市）平成7年9月
- 32 環境水中の基準が定められている揮発性物質へのマイクロ固相抽出法（SPME）-GC/MSの適用；岩村幸美・門上希和夫・杉嶋伸録・篠原亮太：第44回日本分析化学会年会（札幌市）平成7年9月
- 33 過栄養内（洞海湾）における物質循環に関する研究-1994年夏の植物プランクトンの遷移と細胞成分-；山田真知子・東輝明・上田直子・門谷茂（香川大学）：1995年度日本海洋学会秋季大会（名古屋市）平成7年10月
- 34 過栄養内（洞海湾）における物質循環に関する研究-貧酸素水塊の形成過程1994年夏-；東輝明・山田真知子・広谷純（香川大学）・門谷茂（香川大学）・柳哲雄（愛媛大学）：1995年度日本海洋学会秋季大会（名古屋市）平成7年10月
- 35 GC/MSを用いた水中の化学物質分析；門上希和夫：平成7年度中堅分析実務者研修会（飯塚市）平成7年10月
- 36 洞海湾の干潟における底生動物の季節変動とその変動要因について；上田直子・山田真知子・堤裕昭（熊本県立大学）・門谷茂（香川大学）：1995年度日本ベントス学会秋季大会（京都市）平成7年11月
- 37 環境水中の基準が定められている揮発性物質へのマイクロ固相抽出法（SPME）-GC/MSの適用；岩村幸美・門上希和夫・杉嶋伸録・篠原亮太：第21回九州衛生公害技術協議会（福岡市）平成7年11月
- 38 上向流式生物接触ろ過処理に関する研究；伊豆智啓：第21回九州衛生公害技術協議会（福岡市）平成7年11月
- 39 過栄養内（洞海湾）における物質循環に関する研究-貧酸素水塊の形成過程1994年夏-；東輝明：第21回九州衛生公害技術協議会（福岡市）平成7年11月
- 40 河川におけるクロルピリフォス汚染による魚のへい死事件について；陣矢大助・岩村幸美・門上希和夫・杉嶋伸録・篠原亮太：第21回九州衛生公害技術協議会（福岡市）平成7年11月
- 41 水素化物発生/ICP-MSを用いたAs・Se・Sbの同時定量の検討.1；谷崎定二・馬場謙三・門上希和夫・篠原亮太：第22回環境保全・公害防止研究発表会（横浜市）平成7年11月
- 42 北九州市における地下水の安全性総合調査；谷崎定二・野村義夫・馬場謙三・門上希和夫・岩村幸美・崎野始：第4回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会（北九州市）平成7年11月
- 43 消化ガス中の炭酸ガスによる加温浮上濃縮；神代和幸・江藤孝義・奥村裕司・篠原亮太・藤崎一裕（九州工業大学）・一田謙一：第32回土木学会環境工学研究フォーラム（札幌市）平成7年12月
- 44 GC/MSを用いた水環境中の有害化学物質の分析技術；門上希和夫：北九州-大連環境交流会（大連市）平成8年1月
- 45 GC/MS検索システムを応用した自動同定・定量システムの開発（試案）；門上希和夫：第13回環境科学セミナー（東京都）平成8年3月
- 46 水素化物発生装置/ICP-MSを用いたAs・Se・Sbの同時定量の検討.2；谷崎定二・馬場謙三・門上希和夫・篠原亮太：第30回日本水環境学会（福岡市）平成8年3月
- 47 北九州地方を流れる遠賀川水系における微量化学物質（285種）調査について；永富孝則・陣矢大助・門上希和夫・入江隆司・杉嶋伸録・篠原亮太：第30回日本水環境学会（福岡市）平成8年3月
- 48 北九州市内の地下水の微量化学物質（285種）調査について；門上希和夫・陣矢大助・岩村幸美・杉嶋伸録・篠原亮太：第30回日本水環境学会年会（福岡市）平成8年3月
- 49 Behavior of Trace Organic Contaminants in Laboratory Scale Ozonation of Surface Water；M. Koga・J. W. Kang・H. S. Park・K. Kadokami・R. Shinohara：国際水道協会特別会議（大阪市）平成8年度
- 1 北九州市における湿性沈着物の中和について；今泉五和男・松岡靖史・馬場謙三・安田和彦：第37回大気環境学会（堺市）平成8年10月
- 2 北九州市における浮遊粉じん調査；松岡靖史・今泉五和男・馬場謙三・安田和彦：第37回大気環境学会（堺市）平成8年9月
- 3 室内及び屋外空気中のガス状発がん関連物質の汚染実態に関する研究；徳原賢・貫戸東・安田和彦・後藤純雄（国立公衆衛生院）・渡辺征夫（国立公衆衛生院）：第2回室内環境研究会（東京都）平成8年11月
- 4 九州地方における臨床由来溶血レンサ球菌の血清別について；瀧祐一・帆足喜久雄・角典子・久隆潤・加野成明：レンサ球菌感染症研究会第29回学術講演会（福岡）平成8年6月

- 5 病原性大腸菌の現状・検査法・問題点について；加野成明；福岡県内保健・環境研究機関会議（福岡）平成8年12月
- 6 腸管出血性大腸菌 O157 の細菌学的疫学調査について；加野成明・木村尚志；九州地区における腸管出血性大腸菌 O157 の細菌学的疫学調査打ち合わせ会議（熊本）平成8年12月
- 7 平成7年度の北九州市におけるインフルエンザの流行状況について；中村悦子・仮屋園弘志・下原悦子・江口征夫；第43回福岡県公衆衛生学会（福岡）平成8年5月
- 8 九州におけるアデノウイルスの血清疫学 ―九州の10地研による共同研究―；甲木和子（熊本県保健環境科学研）・中村悦子・仮屋園弘志・下原悦子・九州各地研ウイルス担当者；衛生微生物技術協議会第17回研究会（京都）平成8年7月
- 9 食品の苦情事例（焼酎の白い浮遊物）について；村上恵美子・北村尚男・末富良次・石橋正博・江口征夫；第43回福岡県公衆衛生学会（福岡）平成8年5月
- 10 加工食品からのアルギン酸塩1日摂取量とそれに影響を及ぼす食品；末富良次・石橋正博・北村尚男・村上恵美子・江口征夫・城戸浩三；第22回九州衛生公害技術協議会（北九州）平成8年10月
- 11 合成抗菌剤の一斉分析法の改良；村上恵美子・北村尚男・末富良次・石橋正博・江口征夫・城戸浩三；第22回九州衛生公害技術協議会（北九州）平成8年10月
- 12 魚介乾製品と植物油の酸価・過酸化物質及び脂肪酸の消長について；北村尚男・末富良次・村上恵美子・石橋正博・江口征夫・城戸浩三；第33回全国衛生化学技術協議会（京都）平成8年11月
- 13 GC/MS-SCAN 法による農産物中残留農薬迅速ソリーニング分析法の検討；山口新一・衛藤修一・江口征夫・久松由東（国立公衆衛生院）・中澤裕之（星薬科大）；第22回九州衛生公害技術協議会（北九州）平成8年10月
- 14 ビフェントリンの分析方法について；山田 傑・山本昌平・山口新一・衛藤修一・苗床義隆（門司農林水産消費技術センター）；第22回九州衛生公害技術協議会（北九州）平成8年10月
- 15 農産物中の残留農薬実態調査 ―無農薬等表示されたものについて―；山本昌平・山口新一・山田 傑・衛藤修一・江口征夫・城戸浩三・苗床義隆、田中浩一（門司農林水産消費技術センター）；第33回全国衛生化学技術協議会（京都）平成8年11月
- 16 生態学的環境修復法を用いた閉鎖系内湾の生態系改善に関する研究（洞海湾環境の変遷と改善プログラム事例）；篠原亮太；日本水環境学会九州支部水環境講座（初級編）（福岡市）平成8年5月
- 17 洞海湾における濾過植生二枚貝を用いた環境修復；山田真知子・徳永保徳・篠原亮太・門谷茂（香川大学）；第3回環境用水の汚濁とその浄化（山口市）平成8年5月
- 18 廃棄物処分場の排水処理について；野村義夫；第43回福岡県公衆衛生学会（福岡市）平成8年5月
- 19 洞海湾における付着生物を用いた水質浄化法の開発；徳永保徳・山田真知子・上田直子・東輝明・杉嶋伸祿・篠原亮太；第43回福岡県公衆衛生学会（福岡市）平成8年5月
- 20 水資源の有効利用に関するアンケート調査；奥村裕司・神代和幸；第43回福岡県公衆衛生学会（福岡市）平成8年5月
- 21 上向流式生物接触ろ過処理に関する研究；入江隆司・肥塚隆男・伊豆智啓・安本義信・永富孝則；第47回全国全国水道研究発表会（岐阜市）平成8年5月
- 22 膜利用型高度処理システムの研究（Ⅰ）；辻本涉（新日本製鐵）・伊豆智啓・末広章一（新日本製鐵）・入江隆司・木村春男（新日本製鐵）・永富孝則；第47回全国全国水道研究発表会（岐阜市）平成8年5月
- 23 膜利用型高度処理システムの研究（Ⅱ）；伊豆智啓・末広章一（新日本製鐵）・入江隆司・辻本涉（新日本製鐵）・永富孝則・大内治朗（水道局）；第47回全国全国水道研究発表会（岐阜市）平成8年5月
- 24 濾過食性二枚貝を用いた水質浄化法の検討；徳永保徳・山田真知子・東輝明・濱田建一郎・杉嶋伸祿・篠原亮太・門谷茂（香川大学）；第55回日本公衆衛生学会（大阪市）平成8年6月
- 25 余剰汚泥の炭酸ガスによる浮上濃縮；藤崎一裕（九州工業大学）・石田昇（九州工業大学）・神代和幸；第33回下全国水道研究発表会（豊中市）平成8年7月
- 26 フィルターを用いた下水処理水中ウイルスの検出；奥村裕司・中村悦子・下原悦子・神代和幸；第33回下全国水道研究発表会（豊中市）平成8年7月
- 27 紫外線照射によるPCBの光分解経路に関する研究；姚元（九州工業大学）；第3回アクア研究センター研究発表会（北九州市）平成8年8月
- 28 膜利用型高度浄水処理の研究開発；伊豆智啓・永富孝則・入江隆司；第3回アクア研究センター研究発表会（北九州市）平成8年8月
- 29 ムラサキイガイを用いた水質浄化法の研究；徳永保徳・東輝明・濱田建一郎・山田真知子；第3回アクア研究センター研究発表会（北九州市）平成8年8月
- 30 The Recovery of Marine Organisms in Dokai Bay, Japan, after Remediation Project；山田真知子・篠原亮太；閉鎖性海域の環境改善に関する国際会議（豊橋市）平成8年8月
- 31 有機汚泥の堆積した洞海湾湾奥部の底生生物群集と有機汚泥浄化について；中村仁美（香川大学）・堤裕昭（熊本県立大学）・藤木智子（熊本県立大学）・上田直子・濱田建一郎・門谷茂（香川大学）；第10回日本ベントス学会大会（熊本市）平成8年10月
- 32 SPME法を用いたかび臭物質測定；永富孝則・岩村幸美・伊豆智啓・入江隆司；第47回水道研究発表会（岐阜市）平成8年10月
- 33 洞海湾における珪藻類現存量に及ぼすアンモニアの影響；東輝明・山田真知子・門谷茂（香川大学）；平

- 成 8 年度日本水産学会秋季大会（福岡市）平成 8 年 10 月
- 34 洞海湾における化学物質調査について；陣矢大助・門上希和夫・岩村幸美・山田真知子・篠原亮太：第 22 回九州衛生公害技術協議会（北九州市）平成 8 年 10 月
- 35 酸化チタン光触媒反応を用いた水中のトリクロロエチレン・テトラクロロエチレンの分解の検討；谷崎定二・馬場謙三・門上希和夫・杉嶋伸祿・篠原亮太：第 22 回九州衛生公害技術協議会（北九州市）平成 8 年 10 月
- 36 廃棄物処分場の排水処理について；野村義夫・園部亜雄・大和康博・杉嶋伸祿：第 22 回九州衛生公害技術協議会（北九州市）平成 8 年 10 月
- 37 洞海湾（過栄養内湾）における貧酸素形成過程とその規模について；東輝明・山田真知子・門谷茂（香川大学）・柳哲雄（愛媛大学）；第 20 回瀬戸内海水質汚濁研究会議（山口市）平成 9 年 2 月
- 38 イオンラップ型 GC/MS を用いた北九州市沿岸海域の化学物質（285 種）調査と汎用一斉分析法の検討；門上希和夫・陣矢大助・岩村幸美・杉嶋伸祿：第 12 回全国環境公害研究所交流シンポジウム（つくば市）平成 9 年 2 月
- 39 浄水処理工程における微量化学物質調査について；永富孝則・陣矢大助・伊豆智啓・入江隆司・門上希和夫・杉嶋伸祿・篠原亮太：第 31 回日本水環境学会年会（札幌市）平成 9 年 3 月
- 40 洞海湾内における化学物質の挙動；陣矢大助・門上希和夫・岩村幸美・山田真知子・篠原亮太：第 31 回日本水環境学会年会（札幌市）平成 9 年 3 月
- 41 酸化チタンを用いた水中トリハロメタンの光触媒分解；谷崎定二・門上希和夫・馬場謙三・杉嶋伸祿・篠原亮太：第 31 回日本水環境学会年会（札幌市）平成 9 年 3 月
- 42 北九州市周辺海域の化学物質汚染実態調査と生態リスク評価；門上希和夫・陣矢大助・岩村幸美・杉嶋伸祿・篠原亮太：第 31 回日本水環境学会年会（札幌市）平成 9 年 3 月
- 43 2-プロモプロパン、1-クロロプロタン、3・4-ジクロロ-1-ブテンの分析法開発；野村義夫・門上希和夫：第 14 回環境科学セミナー（東京都）平成 9 年 3 月
- 44 Environmental Survey on 285 Chemicals in the Aquatic Environment of Kitakyushu City by Simultaneous Analysis using a GC/MS；門上希和夫・陣矢大助・岩村幸美・杉嶋伸祿・篠原亮太：第 5 回環境化学討論会（ハワイ）平成 9 年 3 月
- 45 Field Survey of Trace Organic Contaminants in Water at Several Drinking Water Facilities in Korea and Japan；古賀実（産業医科大学）・J. W. Kang・H. S. Park（Yonsei Univ.）・門上希和夫・篠原亮太：第 5 回環境化学討論会（ハワイ）平成 9 年 3 月
- 46 閉鎖性内湾域の海底に堆積した有機汚泥の底生生物を用いた浄化；堤裕明（熊本県立大学）・濱田建一郎・中村仁美（香川大学）・門谷茂（香川大学）；平成 8 年度日本水環境学会年会（札幌市）平成 9 年 3 月
- 平成 9 年度
- 1 悪臭規制アルデヒド類と有機溶剤類の一斉分析；徳原賢：第 38 回大気環境学会（つくば市）平成 9 年 9 月
- 2 室内及び屋外の揮発性有機化合物に関する研究；徳原賢・費戸東・安田和彦・後藤純雄（国立公衆衛生院）・渡辺征夫（国立公衆衛生院）；第 44 回福岡県公衆衛生学会（福岡市）平成 9 年 5 月・第 56 回日本公衆衛生学会（横浜市）平成 9 年 10 月
- 3 北九州市における浮遊粒子状物質調査；松岡靖史・村上能崇・馬場謙三・薬師神重二：第 24 回全国環境保全公害防止研究発表会（那覇市）平成 9 年 11 月
- 4 有害大気汚染物質モニタリング実証試験の結果について；花田喜文・松岡靖史・藤野廣・薬師神重二；九州衛生公害技術協議会（鹿児島市）平成 9 年 12 月
- 5 ガスクロマトグラフィー／質量分析法を用いた環境中の微量有機化学物質の分析法；花田喜文；静岡県立大学計測・評価セミナー（静岡市）平成 10 年 3 月
- 6 北九州市における近年の食中毒事件の発生状況について・・・原因菌検索の立場から・・・；木村尚志・加野成明・下原悦子・江口征夫：第 44 回福岡県公衆衛生学会（福岡）平成 9 年 5 月
- 7 加工食品中及び生鮮食品からのオルトリン酸の 1 日摂取量調査；清水 寧・石橋正博・末富良次・村上恵美子・江口征夫：第 44 回福岡県公衆衛生学会（福岡）平成 9 年 5 月
- 8 リン酸系移動相を用いた合成抗菌剤の一斉分析法；村上恵美子・石橋正博・末富良次・清水 寧・篠原純子・江口征夫・城戸浩三：第 74 回日本食品衛生学会（福岡）平成 9 年 5 月
- 9 繊維製品中の有機リン酸エステル系防炎加工剤の一斉分析－有害な有機溶媒を用いない方法－；石橋正博・真鍋静子（北九州市保健所）・篠原純子・江口征夫・城戸浩三：第 34 回全国衛生化学技術協議会（水戸）平成 9 年 11 月
- 10 新規に基準の設定される合成抗菌剤のスクリーニング法の検討；村上恵美子・石橋正博・末富良次・清水 寧・篠原純子・江口征夫・城戸浩三：第 23 回九州衛生公害技術協議会（鹿児島市）平成 9 年 11 月
- 11 加工食品及び生鮮食品からのリンの形態別 1 日摂取量について；清水 寧・石橋正博・末富良次・村上恵美子・江口征夫・城戸浩三：第 74 回日本食品衛生学会（福岡）平成 9 年 10 月
- 12 加工食品・生鮮食品からのアルギン酸塩 1 日摂取量とそれに影響を及ぼす食品；末富良次・石橋正博・清水 寧・村上恵美子・江口征夫・城戸浩三：第 3 回日本食品化学学会（東京）平成 9 年 6 月
- 13 GC/MS-SCAN 法を用いた農産物中の残留農薬一斉分析法（その 2）；山口新一・山本昌平・久保田昌子・衛藤修一・江口征夫・城戸浩三：日本食品衛生学会第

- 74回学術講演会（福岡）平成9年10月
- 14 農薬（ダイシストン）中毒事例；山口新一・山本昌平・久保田昌子・衛藤修一・江口征夫・城戸浩三：第23回九州衛生公害技術協議会（鹿児島）平成9年11月
 - 15 Effect of Ozonation for Treatment of Micropollutants Present in Drinking Water Source；Joon-Wun Kang（延世大学）・Hoon-Soo Park（延世大学）・Rong-Yan Wang（延世大学）・古賀実（産業医科大学）・門上希和夫・Hyeon-Yeoul Kim（Daewoo）・Eung-Taek Lee（Samsung）・Sung-Min Oh（LG）：Asian Water Qual. '97（ソウル市）平成9年5月
 - 16 上向流式生物接触ろ過処理に関する研究（Ⅱ）；橋本昭雄・武富眞・鈴木學・永富孝則・杉嶋伸祿・伊豆智啓・入江隆司・篠原亮太：第48回全国全国水道研究発表会（神戸市）平成9年5月
 - 17 ナノろ過（NF）膜を用いた”おいしい水の研究”の研究；永富孝則・伊豆智啓・入江隆司・杉嶋伸祿・篠原亮太：第48回全国全国水道研究発表会（神戸市）平成9年5月
 - 18 膜利用型高度処理システムの研究（Ⅲ） 農薬等微量化学物質の除去状況（2）；武富眞・橋本昭雄・永富孝則・伊豆智啓・木村春男（新日本製鐵）・辻本渉（新日本製鐵）：第48回全国全国水道研究発表会（神戸市）平成9年5月
 - 19 環境水中の微量化学物質の一斉分析法と検出値の評価；門上希和夫：水環境学会九州支部環境保全のための水環境講座（中級編）（福岡市）平成9年6月
 - 20 北九州市内河川の化学物質汚染実態調査と生態リスク評価；陣矢大助・門上希和夫・岩村幸美・杉嶋伸祿・篠原亮太：第6回環境化学討論会（多摩市）平成9年6月
 - 21 北九州市周辺海域の化学物質による生態リスク評価；門上希和夫・陣矢大助・岩村幸美・杉嶋伸祿・篠原亮太：第6回環境化学討論会（多摩市）平成9年6月
 - 22 消化ガスを用いた加温浮上濃縮法について；江藤孝義・神代和幸・藤崎一裕（九州工業大学）：第34回下水道研究発表会（東京都）平成9年7月
 - 23 MAP法を用いた窒素・リンの同時除去法；神代和幸・篠原亮太・奥村裕司・江藤孝義：第34回下水道研究発表会（東京都）平成9年7月
 - 24 New Stratadic Ecological Method for Preventing the Eutrophication in the Enclosed Coastal Seas；山田眞知子・篠原亮太・門谷茂（香川大学）・堤裕昭（熊本県立大学）・柳哲雄（九州大学）・上真一（広島大学）・鬼頭釣（水産大学）：第3回エメックス（世界閉鎖性環境保全会議）/ 第7回ストックホルムウォーターシンポジウム（ストックホルム）平成9年8月
 - 25 消化ガス中の炭酸ガスを用いた加温浮上濃縮；江藤孝義・神代和幸・藤崎一裕（九州工業大学）：第4回アクア研究センター研究発表会（北九州市）平成9年8月
 - 26 微量化学物質による北九州市内の環境汚染実態と生態リスク評価；陣矢大助・岩村幸美・門上希和夫・鈴木學・杉嶋伸祿・篠原亮太：第4回アクア研究センター研究発表会（北九州市）平成9年8月
 - 27 光触媒を用いた揮発性有機塩素化合物の分解；谷崎定二・門上希和夫・杉嶋伸祿・鈴木學・篠原亮太：第4回アクア研究センター研究発表会（北九州市）平成9年8月
 - 28 固定型酸化チタンによる水中化学物質の分解の検討；谷崎定二・門上希和夫・杉嶋伸祿：第4回シンポジウム「光触媒反応の最近の展開」（東京都）平成9年8月
 - 29 「カエル多肢の事例」について；門上希和夫：第22回日本環境化学会講演会（東京都）平成9年9月
 - 30 富栄養化対策技術としての生態学的環境修復法；山田眞知子・鈴木學・杉嶋伸祿：第8回環境化学討論会（北九州市）平成9年10月
 - 31 水環境のモニタリング；門上希和夫：日本中毒学会九州地方会（福岡市）平成9年10月
 - 32 沈降粒子からみた洞海湾の海域特性；谷茂（香川大学）・広谷純（香川大学）・濱田建一郎・山田眞知子：平成9年度 日本水産学会秋季大会（広島市）平成9年10月
 - 33 洞海湾における植物プランクトン休眠期細胞の発芽と栄養細胞の出現特性との関連について；東輝明・山田眞知子・原田正英（香川大学）・門谷茂（香川大学）：平成9年度 日本水産学会秋季大会（広島市）平成9年10月
 - 34 洞海湾の環境改善 サクセスストーリーを担ったのは；山田眞知子：瀬戸内海研究フォーラム in 福岡（福岡市）平成9年11月
 - 35 水中の化学物質の全自動分析法の検討；岩村幸美・門上希和夫・陣矢大助・杉嶋伸祿・鈴木學：第23回九州衛生公害技術協議会（鹿児島市）平成9年11月
 - 36 固定型酸化チタンによる化学物質の光分解；谷崎定二・門上希和夫・杉嶋伸祿・鈴木學：第23回九州衛生公害技術協議会（鹿児島市）平成9年11月
 - 37 化学物質モニタリングの問題点と解決策（試案）；門上希和夫：第24回環境保全・公害防止研究発表会（那覇市）平成9年11月
 - 38 環境中化学物質と環境ホルモン；門上希和夫：(1)九州沖縄地区輸入食品指定検査機関懇話会 (2)東京都水生生物検討会（(1)福岡市(2)東京都）(1)平成9年12月(2)平成10年2月
 - 39 紫川の水質とシロウオ；橋本昭雄：平成9年度日本水環境学会九州支部研究発表会（福岡市）平成10年1月
 - 40 ジブチルスズ化合物・トリブチルスズ化合物・フェニルスズ化合物・ジフェニルスズ化合物及びトリフェニルスズ化合物の分析法開発；岩村幸美・陣矢大助・谷崎定二・門上希和夫：第15回環境科学セミナー（東京都）平成10年3月
 - 41 電解法による廃棄物処分場排水中の紅色硫黄細菌の

- 除去；大和康博・金子朝俊・野村義夫・鈴木學・杉嶋伸祿：第 32 回日本水環境学会年会（習志野市）平成 10 年 3 月
- 42 二枚貝を用いた生態学的環境修復法の技術開発；徳永保範・山田眞知子・小濱剛（香川大学）・門谷茂（香川大学）：第 32 回日本水環境学会年会（習志野市）平成 10 年 3 月
- 平成 10 年度
- 1 事例報告：工場火災事故時におけるキャニスター法の適用について；花田喜文・西岡貴史・藤野廣・葉師神重二：第 24 回九州衛生公害技術協議会（長崎市）平成 10 年 11 月
 - 2 負化学イオン化 GC/MS を用いた残留農薬分析法の検討；村上恵美子・久保田昌子・宮田大典・衛藤修一・吉川克彦・城戸浩三・根本 了（国立医薬品食品衛生研究所）・福田映美（門司農林水産消費技術センター）：第 76 回食品衛生学会（新潟）平成 10 年 11 月
 - 3 ポリカーボネート製食器や缶詰からのビスフェノール A 溶出調査；篠原純子・石橋正博・吉川克彦・城戸浩三：第 35 回全国衛生化学技術協議会（高知）平成 10 年 10 月
 - 4 電子顕微鏡による食品中の異物観察事例集および CD-ROM 版の作成；末富良次・石橋正博・村上恵美子・篠原純子・吉川克彦・城戸浩三・重田勲次・真島裕子・北村尚男（北九州市保健所）：第 24 回九州衛生公害技術協議会（長崎）平成 10 年 11 月
 - 5 加工食品中の残留農薬実態調査 その 2；久保田昌子・村上恵美子・宮田大典・衛藤修一・吉川克彦・城戸浩三・福田映美（門司農林水産消費技術センター）：第 35 回全国衛生化学技術協議会（高知）平成 10 年 10 月
 - 6 光触媒-紫外線ハイブリッド方式による水中有害化学物質の分解処理；谷崎定二：光触媒を利用した環境浄化技術の開発動向と今後の展望（東京都）平成 10 年 5 月
 - 7 浄水処理過程における化学物質（285 種類）調査；永富孝則・武富眞・橋本昭雄・杉嶋伸祿：第 49 回全国水道研究発表会（広島市）平成 10 年 5 月
 - 8 ポリ塩化アルミニウム（PAC）を用いた水中ウイルス濃縮法の検討；武富眞・橋本昭雄・加治祐毅・伊豆智啓・寺師政廣・山本康之・下原悦子：第 49 回全国水道研究発表会（広島市）平成 10 年 5 月
 - 9 過剰枝カエル発生地における化学物質調査；門上希和夫・武石全慈（教育委員会自然史・歴史博物館）：第 7 回環境化学討論会（京都市）平成 10 年 6 月
 - 10 底質・土壌中の中揮発性化学物質の一斉分析法の検討；陣矢大助・門上希和夫・岩村幸美・杉嶋伸祿・鈴木學：第 7 回環境化学討論会（京都市）平成 10 年 6 月
 - 11 安定同位体標識化合物を用いた有機スズ化合物の分析法の検討；岩村幸美・門上希和夫・陣矢大助・杉嶋伸祿・鈴木學：第 7 回環境化学討論会（京都市）平成 10 年 6 月
 - 12 内分泌攪乱作用が疑われる化学物質の環境中の濃度・挙動と生態系への影響；門上希和夫：技術情報センター講演会（大阪市）平成 10 年 7 月
 - 13 下水処理水の工業用水化研究；神代和幸・小嶋勉・江藤孝義・杉嶋伸祿：第 35 回下全国水道研究発表会（北九州市）平成 10 年 7 月
 - 14 炭酸ガスによる下水汚泥の加温浮上濃縮法（注入方法の検討）；江藤孝義・神代和幸・藤崎一裕（九州工業大学）：第 35 回下全国水道研究発表会（北九州市）平成 10 年 7 月
 - 15 環境ホルモンと環境リスク；門上希和夫：(1) 日本食品分析センター講演会 (2) 岡山農林水産消費技術センター (3) 山口県行政勤務薬剤師会 ((1) 福岡市 (2) 岡山市 (3) 山口市) (1) 平成 10 年 6 月 (2) 平成 10 年 7 月 (3) 平成 10 年 8 月
 - 16 Photochemistry of Non-ortho Substituted PCBs by UV Irradiation in Alkaline 2-Propanol；姚元（九州工業大学）・加藤安彦（九州工業大学）・門上希和夫・篠原亮太：Dioxine '98（ストックホルム）平成 10 年 8 月
 - 17 内分泌攪乱作用が疑われる化学物質の環境中の濃度と挙動；門上希和夫：資源リサイクルセンター講演会（大阪市）平成 10 年 8 月
 - 18 新規抗菌剤シーバイオを用いた水処理法の開発；橋本昭雄・武富眞・田中英和・江口征夫・鈴木學・宮田茂男（海水化学研究所）・藤崎一裕（九州工業大学）：第 5 回アクア研究センター研究発表会（北九州市）平成 10 年 8 月
 - 19 洞海湾の海域特性；濱田建一郎・東輝明・山田眞知子・鈴木學・門谷茂（香川大学）・柳哲雄（九州大学）：第 5 回アクア研究センター発表会（北九州市）平成 10 年 8 月
 - 20 過栄養内湾 洞海湾の 15 年間にわたる植物プランクトンの出現特性；山田眞知子・上田直子：1998 年度日本海洋学会秋季大会（京都府）平成 10 年 9 月
 - 21 洞海湾における植物プランクトン栄養細胞と底質から発芽した休眠期細胞の多様度について；東輝明・山田眞知子・山本明美（香川大学）・門谷茂（香川大学）：1998 年度日本海洋学会秋季大会（京都市）平成 10 年 9 月
 - 22 過栄養内湾（洞海湾）で捕集された沈降粒子の季節変化；濱田建一郎・山田眞知子・門谷茂（香川大学）：1998 年度日本海洋学会秋季大会（京都府）平成 10 年 9 月
 - 23 環境ホルモンとは；門上希和夫：第 1 回日本水環境学会シンポジウム（草津市）平成 10 年 9 月
 - 24 環境水中の微量化学物質の分析と分析値の評価；門上希和夫：水環境学会九州支部環境保全のための水環境講座分科会（福岡市）平成 10 年 10 月
 - 25 ポリ塩化ビフェニール・有機塩素系農薬等に関する情報；門上希和夫：第 26 回日本環境化学会講演会（東京都）平成 10 年 10 月

- 26 固定型酸化チタンを用いた水中化学物質の光分解—環境水中のアルキルフェノールの無機化—；谷崎定二・門上希和夫・江口征夫・鈴木學；工業技術院環境技術研究総合推進会議 特別講演会「光触媒を利用した環境保全技術」(名古屋市)平成10年10月
- 27 有機塩素系化合物の分析法；門上希和夫；第26回日本環境化学会講演会(東京都)平成10年10月
- 28 有機塩素系化合物の抽出及び測定法；門上希和夫；第26回日本環境化学会講演会(東京都)平成10年10月
- 29 環境ホルモンなど化学物質による日本の環境汚染状況と今後の課題；門上希和夫；(1)第6回地球環境経済人サミット(2)第7回日本水環境学会市民セミナー(1)東京都(2)東京都(1)平成10年11月(2)平成11年1月
- 30 環境ホルモンとは；門上希和夫；大気環境学会九州支部総会(長崎市)平成10年11月
- 31 GC/MSを用いた水質・底質中の化学物質分析；門上希和夫；水環境学会九州支部環境保全のための水環境講座(中級編)(福岡市)平成10年11月
- 32 洞海湾で捕集された沈降粒子の性状；濱田建一郎・東輝明・山田眞知子・上田直子・江口征夫・鈴木學・門谷茂(香川大学)；第24回九州衛生公害技術協議会(長崎市)平成10年11月
- 33 ハイドロタルサイト系リン吸着剤の下水処理への応用；金子朝俊・江藤孝義・神代和幸・江口征夫・鈴木學；第24回九州衛生公害技術協議会(長崎市)平成10年11月
- 34 半閉鎖性海域における化学物質の濃度分布；陣矢大助・門上希和夫・山田眞知子・江口征夫・鈴木學・柳哲雄(九州大学)；第25回環境保全・公害防止研究発表会(岡山市)平成10年11月
- 35 環境ホルモンと光触媒—フェノール系環境ホルモンの無機化—；谷崎定二；日本繊維機械学会 光触媒に関する講演会(岐阜市)平成10年12月
- 36 ジブチルスズ化合物・トリブチルスズ化合物・フェニルスズ化合物・ジフェニルスズ化合物・トリフェニルスズ化合物；岩村幸美・陣矢大助・門上希和夫；第16回環境科学セミナー(東京都)平成11年3月
- 平成11年度
- 1 バックグラウンド地域としての屋久島大気中微量揮発性有機化合物の存在；古賀実(熊本県立大学)・花田喜文・永淵修(福岡県保健環境研究所)；第8回環境化学討論会(北九州市)平成11年7月
- 2 廃プラスチックからのPVCの分別とその脱塩素に関する研究開発；藤野廣・花田喜文・尾形昌彦・木藤武利・市来知幸(濱田重工)・岡本省二(藤田商事)；第8回環境化学討論会(北九州市)平成11年7月
- 3 ツリーウォッチングのすすめ；崎野始・村上能崇；福岡県環境教育学会第2回年会(宗像市)平成11年8月
- 4 環境大気中の環境ホルモンの分析精度について；花田喜文・藤野廣；第25回九州衛生公害技術協議会(大分県)平成11年11月
- 5 カキからのNLVs(SRSV)検出状況について；山本康之・木村尚志・高橋正規；第25回九州衛生公害技術協議会(大分)平成11年10月
- 6 缶詰食品中のビスフェノールAの実態調査；川村誠二・篠原純子・石橋正博・吉川克彦・城戸浩三；25回九州衛生公害技術協議会(大分)平成11年10月
- 7 冷凍野菜中の残留農薬調査；宮田大典・久保田昌子・村上恵美子・植田英一・吉川克彦・城戸浩三；25回九州衛生公害技術協議会(大分)平成11年10月
- 8 パルスフィールドゲル電気泳動装置を用いた北九州市内で分離された腸管出血性大腸菌の遺伝子解析について；木村尚志・吉田晋也・森下正人・高橋正規・吉川克彦；平成11年度保健福祉研究発表会
- 9 微量有害化学物質による環境汚染と計測；門上希和夫；国立環境研修センター水質分析研修(所沢市)平成11年6月
- 10 環境ホルモンの最近の動向；門上希和夫；日本環境測定分析協会講演会(福岡市)平成11年6月
- 11 下水汚泥の加温浮上濃縮法；岡山安幸・江藤孝義・神代和幸・福永和久(新日本製鐵)・今宮盛雄(新日本製鐵)；第36回下全国水道研究発表会(東京都)平成11年7月
- 12 下水道施設における生物脱臭の研究；金子朝俊・神代和幸・江藤孝義・藤野廣・大山孝利(建設局)・大庭弁次郎(建設局)・田中瑞穂(新日本製鐵)・犬束英二(新日本製鐵)；第36回下全国水道研究発表会(東京都)平成11年7月
- 13 半閉鎖性海域における化学物質の濃度分布；陣矢大助・門上希和夫・岩村幸美・山田眞知子・柳哲雄(九州大学)；第8回環境化学討論会(北九州市)平成11年7月
- 14 同位体希釈-GC/MSによる生物試料中の有機スズ化合物の分析法検討；岩村幸美・門上希和夫・陣矢大助・江口征夫・鈴木學・園田裕一(新日化環境エンジニアリング)；第8回環境化学討論会(北九州市)平成11年7月
- 15 洞海湾湾奥部における海底環境浄化の試み；堤裕明(熊本県立大学)・荒木希世(京都大)・濱田建一郎・上田直子・門谷茂(香川大学)・徳田貴子(マリーナバイオ)；第6回アクア研究センター研究発表会(北九州市)平成11年8月
- 16 日米での奇形カエルの発生と原因究明；門上希和夫；第6回アクア研究センター研究発表会(北九州市)平成11年8月
- 17 エチル誘導体化-GC/MSによる環境試料中の有機スズ化合物の一斉分析；岩村幸美・門上希和夫・陣矢大助・江口征夫・鈴木學；第2回日本水環境学会シンポジウム(東京都)平成11年9月
- 18 過栄養型内湾(洞海湾)における栄養塩類の動態—24時間連続観測—；濱田建一郎・上田直子・山田眞知子・多田邦尚(香川大学)・門谷茂(香川大学)；平成

- 11 年度日本水産学会秋季大会（仙台市）平成 11 年 9 月
- 19 環境ホルモンによる環境汚染と生態影響；門上希和夫：第 32 回中国四国臨床衛生検査学会（山口市）平成 11 年 10 月
- 20 過剰枝カエルの発生と原因究明；門上希和夫：北九州化学工学懇話会第 15 回講演会（北九州市）平成 11 年 10 月
- 21 Vertical Flux of Organic Matter in Heavily Eutrophic Embayment, Dokai Bay, Japan；濱田建一郎・多田邦尚（香川大学）・山田真知子・江口征夫・鈴木學・門谷茂（香川大学）：エメックス'99（トルコ Antalya）平成 11 年 11 月
- 22 Environmental Impact on Seasonal Changes of Macroinvertebrate Animals on the Mud Flats in Dokai Bay；上田直子・山田真知子・鈴木學・堤裕昭（熊本県立大学）・門谷茂（香川大学）：エメックス'99（トルコ Antalya）平成 11 年 11 月
- 23 環境汚染と形態異常カエル；門上希和夫：第 4 回水環境フロンティア・フォーラム「生態系と環境ホルモン」（福岡市）平成 11 年 12 月
- 24 Research on EDCs at The Area Where Malformed Frogs Were Found；門上希和夫・武石全慈（教育委員会自然史・歴史博物館）・倉本満（市環境ホルモン委員）・小野勇一（市環境ホルモン委員）：第 2 回内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウム（神戸市）平成 11 年 12 月
- 25 内分泌攪乱化学物質の環境中濃度と野生生物への影響；門上希和夫：水環境学会関西支部「内分泌攪乱化学物質問題の最前線」講演会（神戸市）平成 12 年 2 月
- 26 内分泌攪乱化学物質の野生生物への影響；門上希和夫：（財）日本環境衛生センター平成 11 年度「環境保全セミナー」（福岡市）平成 12 年 3 月
- 27 「緊急時における化学物質調査マニュアル」について；門上希和夫：第 17 回環境科学セミナー（東京都）平成 12 年 3 月
- 28 洞海湾底質中の化学物質による底生動物への影響について；江藤優子・上田直子・門上希和夫・鈴木學：第 34 回日本水環境学会年会（京都市）平成 12 年 3 月
- 平成 12 年度
- 1 液体クロマトグラフィー／質量分析法（LC/MS）を用いた環境試料中のエチレンビスジチオカーバメート系農薬の分析；花田喜文・村上能崇・谷崎定二・米久保淳（日本ウオーターズ）：第 9 回環境化学討論会（北海道）平成 12 年 6 月
- 2 LC/MS による化学物質分析法の基礎的検討；花田喜文他 21 名：第 9 回環境化学討論会（北海道）平成 12 年 6 月
- 3 北九州市における降水の化学的特性；村上能崇・崎野始・花田喜文：第 41 回大気環境学会（埼玉）平成 12 年 9 月
- 4 北九州市内浮遊粉じん中の重金属濃度；崎野始・村上能崇・花田喜文：第 41 回大気環境学会（埼玉）平成 12 年 9 月
- 5 日本の環境バックグラウンド濃度一屋久島環境試料中における VOC 及び重金属成分一；谷崎定二・花田喜文・古賀実（熊本県立大学）：第 26 回九州衛生公害技術協議会（佐賀市）平成 12 年 11 月
- 6 バングラディッシュ大気試料を用いた重金属及び多環芳香族炭化水素の分析法の検証；花田喜文・崎野始・谷崎定二・佐伯芳（日本気象協会）：第 26 回九州衛生公害技術協議会（佐賀市）平成 12 年 11 月
- 7 北九州市における降水の化学的特性；村上能崇・崎野始・花田喜文：第 1 回大気環境学九州支部研究発表会（福岡市）平成 13 年 1 月
- 8 屋久島における環境大気中の VOC 濃度；谷崎定二・花田喜文・古賀実（熊本県立大学）：第 1 回大気環境学九州支部研究発表会（福岡市）平成 13 年 1 月
- 9 食品中のビスフェノール A 濃度；川村誠二・篠原純子・大和康博・吉川克彦・城戸浩三：第 36 回全国衛生化学技術協議会（岐阜）平成 12 年 10 月
- 10 鶏卵中の残留農薬実態調査；久保田昌子・樋口雅之・宮田大典・植田英一・吉川克彦・城戸浩三：第 36 回全国衛生化学技術協議会（岐阜）平成 12 年 10 月
- 11 茶中の残留農薬実態調査；宮田大典・久保田昌子・樋口雅之・植田英一・吉川克彦・城戸浩三：第 36 回全国衛生化学技術協議会（岐阜）平成 12 年 10 月
- 12 塩素とアミノ酸の反応に関する研究；橋本昭雄・武富眞・谷崎定二：第 51 回全国水道研究発表会（苫小牧市）平成 12 年 5 月
- 13 鉄系凝集剤と新型下部集水装置を用いた高効率沈澱・ろ過の検討；武富眞・谷崎定二・橋本昭雄・辻本渉（新日本製鐵）・木村春男（新日本製鐵）：第 51 回全国水道研究発表会（苫小牧市）平成 12 年 5 月
- 14 過剰枝カエル発生地における有機塩素系化学物質の動態；門上希和夫・武石全慈（教育委員会自然史・歴史博物館）・倉本満（市環境ホルモン委員）・小野勇一（市環境ホルモン委員）：第 9 回環境化学討論会（札幌市）平成 12 年 6 月
- 15 北九州市の水環境における化学物質汚染とその動態；門上希和夫：第 9 回環境化学討論会（札幌市）平成 12 年 6 月
- 16 下水二次処理水の逆浸透ろ過膜実験；金子朝俊・神代和幸・鈴木學・永富孝則：第 37 回全国水道研究発表会（豊中市）平成 12 年 7 月
- 17 ハイドロタルサイト系リン吸着剤の下水処理への応用；岡山安幸・神代和幸・鈴木學・金子朝俊：第 37 回全国水道研究発表会（豊中市）平成 12 年 7 月
- 18 内分泌攪乱化学物質の野生生物への影響一過剰枝カエルの発生と原因究明一；門上希和夫：第 16 回大学等廃棄物処理施設協議会分科会（山口市）平成 12 年 8 月
- 19 炭酸ガスによる下水汚泥の加温浮上濃縮法；今宮盛雄（新日本製鐵）・福永和久（新日本製鐵）・神代和幸・

- 岡山安幸・藤崎一裕（九州工業大学）：第 7 回アクア研究センター研究発表会（北九州市）平成 12 年 8 月
- 20 逆浸透膜処理による下水処理水の工業用水化研究；神代和幸・金子朝俊・岡山安幸・鈴木學・永富孝則：第 7 回アクア研究センター研究発表会（北九州市）平成 12 年 8 月
- 21 洞海湾の海洋環境と赤潮；多田邦尚（香川大学）・門谷茂（香川大学）・濱田建一郎・上田直子・山田真知子：第 7 回アクア研究センター研究発表会（北九州市）平成 12 年 8 月
- 22 遠賀川流域における微量化学物質の流出解析調査；森山克美（九州共立大学）・橋本昭雄・武富眞・谷崎定二：第 7 回アクア研究センター研究発表会（北九州市）平成 12 年 8 月
- 23 過栄養域における植物プランクトンの窒素源利用；多田邦尚（香川大学）・船木由衣（香川大学）・濱田建一郎・上田直子・門谷茂（香川大学）：2000 年度日本海洋学会秋季大会（福岡市）平成 12 年 9 月
- 24 リンの挙動からみた周防灘の環境特性；門谷茂（香川大学）・山口一岩（香川大学）・濱田建一郎・上田直子：2000 年度日本海洋学会秋季大会（福岡市）平成 12 年 9 月
- 25 環境中化学物質の分析ー現状と展望ー；門上希和夫：第 19 回インテリジェント材料ワークショップ（東京都）平成 12 年 9 月
- 26 鉄系凝集剤と新型下部集水装置を用いた高効率沈澱・ろ過技術の開発；武富眞・橋本昭雄・松田朋子・谷崎定二・辻本渉（新日本製鐵）・木村春男（新日本製鐵）：第 2 回高効率浄水技術研究セミナー（東京都）平成 12 年 9 月
- 27 海面埋立処分場における浸出水の浄化及び地盤の早期安定化に関する研究；石川精一・一田謙一・野村義夫・小嶋勉・坂寄代志夫・江口征夫・鈴木學・三井清志（ひびき灘開発）・中西淳二（ひびき灘開発）・前田信一（ひびき灘開発）：第 11 回廃棄物学会（札幌市）平成 12 年 11 月
- 28 酸化チタンを用いた太陽光分解法の浄水処理への応用；松田朋子・谷崎定二・武富眞・橋本昭雄・江口征夫・鈴木學・高木晋介（福岡大学）・中野勝之（福岡大学）：第 2 回チタニア応用研究会（福岡市）平成 13 年 1 月
- 29 洞海湾におけるイトゴカイを利用した汚泥浄化の試み；上田直子：第 24 回瀬戸内海水質汚濁研究公害研究会議（大阪市）平成 13 年 2 月
- 30 Deformed Frogs Found in Kitakyushu City, Japan；門上希和夫・武石全慈（教育委員会自然史・歴史博物館）・柏木昭彦（広島大学）・吉里勝利（広島大学）・倉本満（市環境ホルモン委員）・小野勇一（市環境ホルモン委員）：International Workshop on the Development of Standard Bioassay for the Adverse Effects of Endocrine Disrupting Chemicals on Invertebrates in the Field（熊本市）平成 13 年 3 月
- 31 Deformed Frogs Found in Kitakyushu City・Japan；門上希和夫・武石全慈（教育委員会自然史・歴史博物館）・柏木昭彦（広島大学）・吉里勝利（広島大学）・倉本満（市環境ホルモン委員）・小野勇一（市環境ホルモン委員）：内分泌攪乱化学物質による環境汚染とその影響評価手法に関する国際ワークショップ（つくば市）平成 13 年 3 月
- 32 周防灘浅海域の親生物元素の動態-低次生物生産機構との関係を踏まえて-；門谷茂（香川大学），山口一岩（香川大学），堤裕昭（熊本県立大学），濱田建一郎，上田直子：2001 年度日本海洋学会春季大会（東京都）平成 13 年 3 月
- 平成 13 年度
- 1 液体クロマトグラフィー／質量分析法（LC/MS）を用いたトリフェニルボラン化合物の分析法；花田喜文・谷崎定二・古賀実（熊本県立大学）：第 10 回環境化学討論会（松山市）平成 13 年 5 月
- 2 LC/MS による化学物質分析法の基礎的検討（9）、（10）、（11）；花田喜文・谷崎定二他 20 名：第 10 回環境化学討論会（松山市）平成 13 年 5 月
- 3 北九州市における多環芳香族炭化水素濃度；徳原賢・村上能崇・花田喜文：第 42 回大気環境学会（北九州市）平成 13 年 10 月
- 4 北九州市内浮遊粉じん中の重金属濃度-第 2 報-；崎野始・谷崎定二・花田喜文：第 42 回大気環境学会（北九州市）平成 13 年 10 月
- 5 酸化チタンを用いた悪臭物質の光分解；谷崎定二・村上能崇・花田喜文：第 42 回大気環境学会（北九州市）平成 13 年 10 月
- 6 樹木の葉中の大気汚染物質；村上能崇・崎野始・谷崎定二・徳原賢：第 42 回大気環境学会（北九州市）平成 13 年 10 月
- 7 北九州市内における大気中揮発性有機化合物濃度；山口理香・徳原賢・花田喜文・竹内良治：第 27 回九州衛生環境技術協議会（福岡市）平成 13 年 10 月
- 8 北九州地域の浮遊粒子状物質中金属元素の特性；崎野始・谷崎定二：第 2 回大気環境学会九州支部研究発表会（福岡市）平成 14 年 1 月
- 9 ppb レベルの悪臭物質に対する光触媒分解；谷崎定二・村上能崇・花田喜文：第 3 回「チタニアとその応用」に関する研究発表会（福岡市）平成 14 年 3 月
- 10 食品中ビスフェノール A の簡易測定法の検討；川村誠二・大和康博・吉川克彦・城戸浩三：第 38 回全国衛生化学技術協議会（千葉）平成 13 年 11 月
- 11 カエルの体内から卵へのダイオキシン類の物質移動；門上希和夫・武石全慈（教育委員会自然史・歴史博物館）・倉本満（市環境ホルモン委員）・小野勇一（市環境ホルモン委員）：第 10 回環境化学討論会（松山市）平成 13 年 5 月
- 12 発光検出手法を用いた umu 法の検討と底質試料等への適用；棚田京子・門上希和夫・江口征夫・鈴木學・後藤純雄（国立環境研究所）・平井正名（豊田中央研

- 究所)・今枝孝夫(豊田中央研究所):第10回環境化学討論会(松山市)平成13年5月
- 13 固相マイクロ抽出(SPME)/ガスクロマトグラフィー/質量分析法を用いた水中の水溶性化学物質の一斉分析;宮崎照美(新日化環境エンジニアリング)・門上希和夫:第10回環境化学討論会(松山市)平成13年5月
- 14 酸化チタンを用いた太陽光分解法の浄水処理への応用(Ⅱ);一田謙一・松田朋子・武富眞・谷崎定二・橋本昭雄・江口征夫・鈴木學・石橋正博・高木晋介(福岡大学)・中野勝之(福岡大学):第52回全国水道研究発表会(盛岡市)平成13年5月
- 15 上水原水中アミノ酸分析法の開発;武富眞・松田朋子・橋本昭雄・江口征夫・鈴木學:第52回全国水道研究発表会(盛岡市)平成13年5月
- 16 National and Local Surveys of Toxic Chemicals in Aquatic Environments in Japan;門上希和夫・陣矢大助・岩村幸美・篠原亮太(熊本県立大学):Shiga-Michigan Joint Symposium 2001(彦根市)平成13年6月
- 17 我が国沿岸海域に移入した熱帯産珪藻 *Skeletonema tropicum* の生存戦略;山田眞知子・上田直子:土木学会第9回地球環境シンポジウム(北九州市)平成13年7月
- 18 下水処理における地球温暖化ガスの実態調査;岡山安幸・神代和幸・鈴木學・谷口正人(建設局):土木学会第9回地球環境シンポジウム(北九州市)平成13年7月
- 19 下水二次処理水の工業用水化に関する研究;金子朝俊・神代和幸・鈴木學:第38回全国水道研究発表会(東京都)平成13年7月
- 20 下水処理における地球温暖化ガスの実態調査;岡山安幸・神代和幸・金子朝俊・江口征夫・鈴木學:第38回全国水道研究発表会(東京都)平成13年7月
- 21 海面埋立処分場における浸出水の浄化及び地盤の早期安定化に関する研究;石川精一・一田謙一・坂寄代志夫・大庭俊一・福本真紀・鈴木學・柳瀬龍二(福岡大学)・立藤綾子(福岡大学)・松藤康司(福岡大学)・三井清志(ひびき灘開発)・中西淳二(ひびき灘開発)・前田信一(ひびき灘開発):第8回アクア研究センター研究発表会(北九州市)平成13年8月
- 22 発光検出手法を用いた umu テストの検討と底質試料等への適用;棚田京子:第8回アクア研究センター研究発表会(北九州市)平成13年8月
- 23 固相マイクロ抽出(SPME)/GC-MS を用いた水中の水溶性化学物質の一斉分析;宮崎照美(新日化環境エンジニアリング)・門上希和夫:第8回アクア研究センター研究発表会(北九州市)平成13年8月
- 24 過栄養海域における植物プランクトンの窒素利用能;多田邦尚(香川大学)・舟木由衣(香川大学)・山田眞知子・門谷茂(香川大学):2001年度日本海洋学会秋季大会(静岡市)平成13年9月
- 25 MAP 法を用いたリンの資源回収技術;神代和幸・下原悦子:第4回日本水環境学会シンポジウム(北九州市)平成13年9月
- 26 化学物質の面からの過剰枝ガエルの原因究明;門上希和夫・武石全慈(教育委員会自然史・歴史博物館)・倉本満(市環境ホルモン委員)・小野勇一(市環境ホルモン委員)・柏木昭彦(広島大学)・吉里勝利(広島大学):第4回日本水環境学会シンポジウム(北九州市)平成13年9月
- 27 洞海湾における生態学的環境修復の試み 洞海湾の水質環境の現状と生態学的環境修復の概要;山田眞知子・鈴木學:第4回日本水環境学会シンポジウム(北九州市)平成13年9月
- 28 培養カエル白血球に対するトリニトロトルエンの細胞遺伝学的影響;花田秀樹(広島大学)・柏木昭彦(広島大学)・柏木啓子(広島大学)・吉里勝利(広島大学)・武石全慈(教育委員会自然史・歴史博物館)・倉本満(福岡教育大学)・小野勇一(九州大)・門上希和夫:日本動物学会第72回大会(福岡市)平成13年10月
- 29 循環式準好気性埋立システムにおける化学物質の溶出・分解挙動;石川精一・一田謙一・坂寄代志夫・大庭俊一・福本真紀・鈴木學・柳瀬龍二(福岡大学)・立藤綾子(福岡大学)・松藤康司(福岡大学)・三井清志(ひびき灘開発)・中西淳二(ひびき灘開発)・前田信一(ひびき灘開発):第12回廃棄物学会研究発表会(横浜市)平成13年11月
- 30 循環式準好気性埋立システムにおける浸出水浄化機構;坂寄代志夫・石川精一・一田謙一・大庭俊一・福本真紀・鈴木學・柳瀬龍二(福岡大学)・立藤綾子(福岡大学)・松藤康司(福岡大学)・三井清志(ひびき灘開発)・中西淳二(ひびき灘開発)・前田信一(ひびき灘開発):第12回廃棄物学会研究発表会(横浜市)平成13年11月
- 31 工業都市における環境媒体中ダイオキシン汚染実態;陣矢大助・梶原葉子・門上希和夫:第28回環境保全・公害防止研究発表会ミニシンポジウム(仙台市)平成13年11月
- 32 両生類におけるダイオキシン類の動態;門上希和夫・武石全慈(教育委員会自然史・歴史博物館)・倉本満(市環境ホルモン委員)・小野勇一(市環境ホルモン委員):第17回全国環境研究所交流シンポジウム(つくば市)平成14年2月
- 33 海面埋立処分場における浸出水の浄化及び地盤の早期安定化に関する研究;大庭俊一・石川精一・福本真紀・坂寄代志夫・鈴木學・柳瀬龍二(福岡大学)・立藤綾子(福岡大学)・松藤康司(福岡大学)・三井清志(ひびき灘開発)・中西淳二(ひびき灘開発)・前田信一(ひびき灘開発):第6回福岡大学資源循環・環境制御研究グループ成果発表会(北九州市)平成14年3月
- 34 水資源の活用に関する研究-逆浸透膜処理による下水処理水の工業用水化-;岡山安幸:第6回福岡大学資源循環・環境制御研究グループ成果発表会(北九州市)平成14年3月

平成 14 年度

- 1 排ガス中のダイオキシン類に対する迅速分析法の開発；谷崎定二・花田喜文他 5 名；第 11 回環境化学討論会（箱根）平成 14 年 5 月
- 2 環境試料中の極微量ハロゲン化フェノール類のガスクロマトグラフィー／質量分析法におけるペンタフルオロベンジルプロマイド誘導体化法の応用；花田喜文・谷崎定二他 5 名；第 28 回九州衛生環境技術協議会（宮崎市）平成 14 年 10 月
- 3 大気中アルデヒド類分析のための CI-GC/MS の基礎的研究；徳原賢・花田喜文；第 3 回大気環境学会九州支部研究発表会（福岡市）平成 14 年 12 月
- 4 北九州市における平成 13 年度の環境大気中のダイオキシン類濃度について；谷崎定二・花田喜文・江藤優子（北九州市環境局環境対策課）；第 29 回環境保全・公害防止研究発表会（宮崎市）平成 15 年 1 月
- 5 LC/MS による化学物質分析法の基礎的検討（13）－食品衛生法対象農薬の同時検出法の検討－；樋口雅之；第 11 回環境化学討論会（箱根町）平成 14 年 6 月
- 6 北九州市民のフェノール類の 1 日摂取量調査；川村誠二・苗床江理・大和康博・高橋正規・岩崎吉哉（独）農林水産消費技術センター門司センター）；第 39 回全国衛生化学技術協議会（山形）
- 7 北九州市における一般家庭の室内空気中の揮発性有機化合物濃度調査；梨田実・徳崎里美・大和康博・高橋正規；第 39 回全国衛生化学技術協議会（山形）
- 8 Success Story from Industrial Pollution and Research on Present Environmental Problems in Dokai Bay, Kitakyushu City, Japan -Success Story from Industrial Pollution and Outline of new Research-；山田真知子・鈴木學；ISOPE-2002（北九州市）平成 14 年 5 月
- 9 Pollution of Coastal Water by Man-made Chemicals；門上希和夫・陣矢大助・岩村幸美・篠原亮太（熊本県立大学）・古賀実（熊本県立大学）；ISOPE-2002（北九州市）平成 14 年 5 月
- 10 酸化チタンを用いた太陽光分解法の浄水処理への応用（Ⅱ）；奥村裕司・武富眞・一田謙一・田中和彦・高木晋介（福岡大学）・中野勝之（福岡大学）；第 53 回全国水道研究発表会（前橋市）平成 14 年 5 月
- 11 下水処理水の工業用水化に関する研究－逆浸透膜に供給する原水前処理方法の検討－；岡山安幸・下原悦子・門上希和夫・鈴木學・神代和幸；第 39 回下全国水道研究発表会（名古屋市）平成 14 年 7 月
- 12 メタン発酵による下水汚泥のエネルギー化研究－嫌気性消化における前処理方法の検討－；仰木雅也・岡山安幸・下原悦子・鈴木學・神代和幸；第 39 回下全国水道研究発表会（名古屋市）平成 14 年 7 月
- 13 海面埋立終末期浸出水の「せせらぎ施設」による水質浄化と硫化水素の発生抑制について；大庭俊一・石川精一・坂寄代志夫・福本真紀・小嶋勉・山田傑・門上希和夫・鈴木學・三井清志（ひびき灘開発）・中西

- 淳二（ひびき灘開発）・前田信一（ひびき灘開発）；第 9 回アクア研究センター研究発表会（北九州市）平成 14 年 8 月
- 14 両生類生態系における難分解性有機塩素系化学物質の挙動；門上希和夫・武石全慈（教育委員会自然史・歴史博物館）・倉本満（市環境ホルモン委員）・小野勇一（市環境ホルモン委員）；第 22 回農業環境シンポジウム及び第 2 回有機化学物質研究会合同シンポジウム（つくば市）平成 14 年 9 月
- 15 過栄養沿岸海域（北九州市・洞海湾）における海洋環境と赤潮形成；多田邦尚（香川大学）・森下正和（香川大学）・濱田建一郎・門谷茂（北海道大学）・山田真知子；第 5 回日本水環境学会シンポジウム（府中市）平成 14 年 9 月
- 16 TNT により誘起された・体外培養の染色体異常は抗酸化酵素で押さえられる；花田秀樹（広島大学）柏木昭彦（広島大学）柏木啓子（広島大学）・吉里勝利（広島大学）・武石全慈（教育委員会自然史・歴史博物館）・倉本満（市環境ホルモン委員）・小野勇一（市環境ホルモン委員）・門上希和夫；日本動物学会第 73 回大会（金沢市）平成 14 年 9 月
- 17 北九州市の旧弾薬庫跡地における環境安全性評価；棚田京子・門上希和夫・江口征夫・鈴木學；第 28 回九州衛生環境技術協議会（宮崎市）平成 14 年 10 月
- 18 循環式準好気性海面埋立システムによる浸出水の浄化；坂寄代志夫・大庭俊一・石川精一・門上希和夫・鈴木學・柳瀬龍二（福岡大学）・立藤綾子（福岡大学）・松藤康司（福岡大学）・三井清志（ひびき灘開発）・中西淳二（ひびき灘開発）・前田信一（ひびき灘開発）；第 28 回九州衛生環境技術協議会（宮崎市）平成 14 年 10 月
- 19 遠賀川におけるアルキルフェノール類の実態調査；武富眞・奥村裕司・一田謙一・門上希和夫・鈴木學；第 28 回九州衛生環境技術協議会（宮崎市）平成 14 年 10 月
- 20 化学物質と環境；門上希和夫；市民のための環境セミナー（北九州市）平成 14 年 11 月
- 21 Comparison of the amount of dioxin accumulation in fish and shellfishes；門上希和夫；第 2 回内分泌攪乱化学物質問題等に関する日韓共同シンポジウム（つくば市）平成 14 年 12 月
- 22 酸化チタンを用いた太陽光分解法の浄水処理への応用（Ⅱ）；奥村裕司・武富眞・一田謙一・田中和彦・高木晋介（福岡大学）・中野勝之（福岡大学）；チタニア応用研究会第 4 回研究発表会（北九州市）平成 15 年 1 月
- 23 両生類生態系における有機塩素系化学物質の動態；門上希和夫・武石全慈（教育委員会自然史・歴史博物館）・倉本満（市環境ホルモン委員）・小野勇一（市環境ホルモン委員）；第 29 回環境保全公害防止研究発表会（宮崎市）平成 15 年 1 月
- 24 海面埋立における浸出水循環法の適用可能性と内水池の硫化水素発生防止対策技術の検討；大庭俊一・坂

- 寄代志夫・小嶋勉・山田傑・三井清志(ひびき灘開発) : 第 18 回全国環境研究所交流シンポジウム(つくば市) 平成 15 年 2 月
- 25 洞海湾で鞭毛藻が大増殖しない理由; 多田邦尚(香川大学)・一見和彦(香川大学)・横田隼人(香川大学)・門谷茂(北海道大学)・山田真知子: 2003 年海洋学会春季大会(東京都) 平成 15 年 3 月
- 26 1, 2, 5, 6, 9, 10-ヘキサプロモシクロドデカン; 棚田京子: 第 20 回環境科学セミナー(東京都) 平成 15 年 3 月
- 27 洞海湾環境修復(ムラサキイガイ養殖筏)の魚類増集効果について; 田中和彦・吉川ひろみ・山田真知子・河村親和(九州工業大学)・北山英希(九州工業大学)・鈴木學: 第 37 回日本水環境学会年会(熊本市) 平成 15 年 3 月
- 28 生物学的環境修復におけるムラサキイガイの肥料化処理研究; 田中和彦・吉川ひろみ・山田真知子・初山正和(市市農事センター)・戸高健(市市農事センター)・北山英希(九州工業大学)・河村親和(九州工業大学)・鈴木學: 第 37 回日本水環境学会年会(熊本市) 平成 15 年 3 月
- 29 山田緑地土壌におけるトリニトロトルエン生分解微生物のスクリーニング; 前田憲成(九州工業大学)・梁明(九州工業大学)・大住幸秀(九州工業大学)・草野好司(九州工業大学)・尾川博昭(九州工業大学)・門上希和夫: 第 37 回日本水環境学会年会(熊本市) 平成 15 年 3 月
- 30 Concentrations of endocrine disrupting-chemicals in the environment in Japan; 門上希和夫・花田喜文: 第 76 回日本薬理学会年会・第 80 回日本生理学会大会(福岡市) 平成 15 年 3 月
- 2 論文等発表
- 平成 5 年度
- 1 Characteristics of Ionic Components in Precipitation in Kitakyushu City, Japan; 大和康博・山田傑・城戸浩三: *Journal of Atmospheric Chemistry* 17, 325-337(1993)
- 2 小児急性胃腸炎からの小型球形ウイルス(SRV)検索; 仮屋園弘志・中村悦子・下原悦子・杉嶋伸祿・佐久間孝久(佐久間小児科医院)・橋爪広好(橋爪小児科医院): *病原微生物検出情報*, 14, 3 (1993)
- 3 ワクチン株によるポリオ麻痺患者について; 中村悦子・仮屋園弘志・下原悦子・植村和紀(九州構成年金病院神経内科)・米山徹夫・藤原卓・萩原昭夫(国立予研ウイルス第二部): *病原微生物検出情報*, 15, 5-6 (1993)
- 4 農産物中のジフルベンズロン(殺虫剤)の分析; 寺師朗子・衛藤修一・鷹野謙二: *食品衛生学雑誌*, 34, 114-119 (1993)
- 5 北九州市の川にもいたシロウオ; 山田真知子・田邊明(経済局)・藪本美孝(市自然史博物館): わたしたちの自然史, 44, 1-4 (1993)
- 6 History of Water and Sediment Pollution and Future Subject of Dokai Bay, Kitakyushu City, Japan; M. Yamada, K. Kido, T. Hori: *Proceedings of the 16th U. S. /Japan Experts Meeting on Management of Bottom Sediments Containing Toxic Substance*, Y1-Y21 (1993)
- 7 洞海湾における生物生産に及ぼす N:P 比の影響に関する予備調査; 山田真知子: 平成 4 年度栄養塩類構成比変化影響調査報告書, 95-108 (1993)
- 8 洞海湾の湾奥部に存在する干潟が生態系に果たす役割; 山田真知子・上田直子・梶原葉子・徳崎健史・堤裕昭(熊本女子大学)・門谷茂(香川大学): *日産科学振興財団研究報告書*, 16, 223-230 (1993)
- 9 水域の窒素:リン比と水産生物-洞海湾・響灘-; 山田真知子: *水産学シリーズ*, 95, 96-106 (1993)
- 10 環境科学分野における光化学反応の利用(解説); 石川精一・末富良次: *環境科学*, 3, 295-304 (1993)
- 11 北九州周辺海域および河川感潮域における底質中の腐食酸分布と有機汚濁への寄与; 石川精一・内村豊・上田直子・城戸浩三: *資源環境対策*, 30, 231-237 (1994)
- 平成 6 年度
- 1 下水処理水と公共用水域のウイルスに関する研究; 下原悦子・仮屋園弘志・中村悦子: 第 20 回医学研究女性報告集
- 2 Recovery of the Marine Bottom Environment of a Japanese Bay; 上田直子・堤裕昭(熊本県立大学)・山田真知子・竹内良治・城戸浩三: *Marine Pollution Bulletin*, 28, 676-682 (1994)
- 3 水を活かす-アクア研究センターの誕生と将来展望-; 篠原亮太: *いちいがし*, 77, 6-9 (1994)
- 4 水環境国際協力と地方自治体研究所の役割-北九州市の事例に見る現況と課題-; 篠原亮太: *水環境学会誌*, 17, 772-775 (1994)
- 5 洞海湾と漁業-豊かな海への回復を願って-; 山田真知子: *水産世界*, 12, 36-43 (1994)
- 6 ガスクロマトグラフィー/質量分析法を用いた環境中の化学物質検索; 花田喜文・門上希和夫・白石寛明(国立環境研究所)・今村清(大阪府公害監視センター)・鈴木茂(川崎市公害研究所)・長谷川敦子(神奈川県環境科学センター)・村山等(新潟県衛生公害研究所): *環境化学*, 5, 47-64 (1995)
- 7 国際環境協力のすすめ; 門上希和夫: *地方自治職員研修 臨時増刊 47*, 工職研出版
- 8 英和/和英 国際環境科学用語集;(共著) 篠原亮太・門上希和夫・山田真知子, 日刊工業新聞社
- 平成 7 年度
- 1 Simultaneous Determination of Trace Pesticides in Urban Air; 原口公子・北村江理・山下俊郎・貴戸東: *Atomos. Environ.*, 28, 1319(1994)
- 2 Simultaneous Determination of Trace Pesticides

- in Urban Precipitation; 原口公子・北村江理・山下俊郎・貴戸東: *Atomos. Environ.*, 29, 247-253 (1995)
- 3 北九州における大気中の農薬の分布および季節変動; 原口公子・北村江理・山下俊郎・貴戸東: *大気汚染学会誌*, 29, 323-331 (1994)
 - 4 大気中のガス状芳香族炭化水素類の濃度とその挙動; 貴戸東・徳原賢・花田喜文・安田和彦: *全国公害研究会誌*, 20(4), 21-24 (1995)
 - 5 九州におけるA群溶血レンサ球菌の血清型と薬剤感受性について (第2報); 瀧 祐一 (大分県衛生環境研究センター)・加野成明・他4名: *大分県衛生環境研究センター年報*, 22, 41-46 (1995)
 - 6 1991~1992年、1992~1993年のインフルエンザ流行—特徴とワクチン接種者の発病—; 佐久間孝久 (佐久間小児科)・下原悦子・仮屋園弘志・中村悦子・後藤修郎 (化血研): *日本医事新報*, No.3716, 43-53 (1995)
 - 7 九州・沖縄地方におけるインフルエンザ流行の経時的移行 (1994年4月~1995年3月); 梶原淳睦 (福岡県保健環境研究所)・中村悦子・仮屋園弘志・下原悦子・他13名: *感染症学雑誌*, 69, 1244-1249 (1995)
 - 8 Specificity and Mechanism of the Reaction of Cocaine with Cobaltous Thiocyanate.; Kazuta Oguri (Kyushu University), Sachiko Wada (Kyushu District Narcotic Control Office), Shuichi Eto, Hideyuki Yamada (Kyushu University): *Jpn. J. Toxicol. Environ. Health*, 41, 300-305 (1995)
 - 9 縮合リン酸塩の1日摂取量とそれに影響する食品; 石橋正博・山田 傑・北村尚男・真島裕子・一色賢司 (農林水産省食品総合研究所)・伊藤誉志男 (武庫川女子大学); *日本食品化学学会誌*, 2, 93-96 (1995)
 - 10 Simultaneous Determination of 285 Chemicals in Water at ppt Levels by GC-Ion Trap Mass Spectrometry; 門上希和夫・佐藤健司・古賀実 (産業医科大学)・篠原亮太: *Analytical Science & Technology*, 8, 771-778 (1995)
 - 11 Simultaneous Determination of 266 Chemicals in Water at ppt Levels by GC-Ion Trap MS; 門上希和夫・佐藤健司・花田喜文・篠原亮太・古賀実 (産業医科大学)・白石寛明 (国立環境研究所): *Analytical Sciences*, 11, 375-384 (1995)
 - 12 GC/MSによる水環境試料中の有機リン酸エステル類の分析; 佐藤健司・門上希和夫: *環境化学*, 5, 821-827 (1995)
 - 13 洞海湾今昔—その環境と生きものたち— (上); 山田真知子: *ひろば北九州*, 107, 6-13 (1995)
 - 14 洞海湾今昔—その環境と生きものたち— (下); 山田真知子: *ひろば北九州*, 108, 12-19 (1995)
 - 15 上向流式生物接触ろ過の高度処理への導入に関する研究; 伊豆智啓: *用水と廃水*, 37, 12-61 (1995)
 - 16 環境汚染のトキシコロジー; (共訳) 篠原亮太, 化学同人

平成8年度

- 1 九州地方における臨床由来溶血レンサ球菌の血清型別について (1995年) (第3報); 瀧 祐一 (大分県衛生環境研究センター)・加野成明・他3名: *大分県衛生環境研究センター年報*, 23, 50-52 (1996)
- 2 GCを用いた農産物中のマレイン酸ヒドラジド分析法; 寺師朗子・山口新一・山本昌平・衛藤修一: *食品衛生学雑誌*, 37, 406-411 (1996)
- 3 洞海湾の潮流と残差流; 柳哲雄 (愛媛大学)・井上康一 (愛媛大学)・門谷茂 (香川大学)・山田真知子: *愛媛大学工学部紀要*, 15, 423-430 (1996)
- 4 洞海湾における付着動物の出現特性と富栄養度の判定; 梶原葉子・山田真知子: *水環境学会誌*, 20, 63-70 (1997)
- 5 マイクロ固相抽出法/ガスクロマトグラフィー/質量分析法による環境水中の水溶性アルコールの定量; 門上希和夫・佐藤健司・岩村幸美・花田喜文: *分析化学*, 45, 1013-1018 (1996)
- 6 上向流式生物接触ろ過処理に関する研究; 永富孝則・伊豆智啓・入江隆司・杉嶋伸祿・篠原亮太・肥塚隆男・安本義信: *用水と廃水*, 39(3), 27-34 (1996)
- 7 GC/MSを用いた水中の微量化学物質の分析; 共著 (門上希和夫): *水と廃水観測分析法指南下冊*, 中国環境化学出版社

平成9年度

- 1 常温吸着捕集/加熱脱着/キャピラリーガスクロマトグラフィー/質量分析法による悪臭規制アルデヒド類と有機溶剤類の一斉分析; 徳原賢・貴戸東・安田和彦・城戸浩三: *分析化学*, 46(5), 367-374 (1997)
- 2 室内及び屋外の揮発性有機化合物の北九州市における分布の実態 (I); 徳原賢・貴戸東・藤野廣・薬師神重二・城戸浩三・渡辺征夫 (国立公衆衛生院)・後藤純雄 (国立公衆衛生院): *環境化学*, 7(4), 809-820 (1997)
- 3 北九州市における低沸点有機塩素化合物の調査; 徳原賢・貴戸東・安田和彦・城戸浩三: *全国公害研究会誌*, 22(1), 2-7 (1997)
- 4 九州地方における臨床由来溶血レンサ球菌の血清型別について (1996-97年) (第4報); 瀧 祐一 (大分県衛生環境研究センター)・加野成明・他3名: *大分県衛生環境研究センター年報*, 25, (1997)
- 2 世界の水系疾病の動向—飲料水起因の微生物感染症—; 平田 強 (麻布大学)・下原・悦子・他3名: *水環境学会誌*, 20, 129-133 (1997)
- 3 スキャンモードを用いるガスクロマトグラフィー/質量分析法による農産物中残留農薬一斉分析; 山口新一・衛藤修一・江口征夫・城戸浩三・久松由東 (国立公衆衛生院)・中澤裕之 (星薬科大学): *分析化学*, 46, 905-914 (1997)
- 4 微量化学物質分析における安定同位体標識標準物質の利用; 門上希和夫: *水環境学会誌*, 20, 304-307 (1997)

- 5 下水処理水の再利用に関する研究 (I) ; 奥村裕司・神代和幸・江藤孝義・篠原亮太・杉嶋伸祿: 用水と廃水, 139(420), 25-62 (1997)
- 6 海水を利用した MAP 法によるリンの除去; 神代和幸・奥村裕司: 下水道協会誌, 134(420), 60-64 (1997)
- 7 洞海湾の環境改善 サクセスストーリーを担ったのは; 山田真知子: 瀬戸内海, No. 13, 25-32 (1998)
- 8 Ecological modeling as a tool for coastal zone management in Dokai Bay, Japan; 柳哲雄 (愛媛大学)・井上康一 (愛媛大学)・門谷茂 (香川大学)・山田真知子; Journal of Marine Systems, 13, 123-136 (1997)
- 9 過栄養な内湾 洞海湾における貧酸素水塊の形成過程とその特性について; 東輝明・山田真知子・門谷茂 (香川大学)・広谷純 (香川大学)・柳哲雄 (愛媛大学): 日本水産学会誌, 64(2), 204-210 (1997)
- 10 水素化物発生/誘導結合プラズマ質量分析法によるヒ素, セレン, アンチモンの同時定量; 谷崎定二・馬場謙三・門上希和夫・篠原亮太: 分析化学, 46(11), 849-855 (1997)
- 11 固定型酸化チタンを用いた水中トリハロメタンの光分解; 谷崎定二・門上希和夫・杉嶋伸祿・鈴木學・篠原亮太: 全国公害研会誌, 22(3), 104-108 (1997)
- 12 カエルの奇形と微量化学物質による環境汚染; 門上希和夫: 環境新聞, 1998/2/4, 2/11
- 13 内分泌攪乱作用が疑われる化学物質の我が国の環境中濃度; 門上希和夫: 環境ホルモン, 環境新聞社

平成 10 年度

- 1 北九州市における悪臭苦情への迅速対応について—試料採取マニュアルと機器分析の改修 (GC/MS) —; 徳原賢・貴戸東・安田和彦・城戸浩三: 臭気の研究, 29(5), 347-355(1998)
- 2 北九州市におけるナノろ過膜を用いた“おいしい水”の研究; 永富孝則・武富眞・橋本昭雄・杉嶋伸祿・鈴木學・伊豆智啓・入江隆司・篠原亮太: 水道協会雑誌, 167(766), 19-27 (1998)
- 3 酸化チタンを用いた化学物質の光分解; 谷崎定二: 建築設備と配管工事, 36(6), 14-18 (1998)
- 4 閉鎖系水域の生態学的な環境管理と修復—北九州市洞海湾を例として—; 山田真知子・鈴木學・杉嶋伸祿・柳哲雄 (九州大学)・門谷茂 (香川大学)・堤博昭 (熊本県立大学): 環境科学会誌, 11(2), 173-182 (1998)
- 5 生態学的環境修復法を用いた富栄養化海域の環境改善と環境管理; 山田真知子・東輝明・濱田建一郎・上田直子・江口征夫・鈴木學: 環境科学会誌, 11(4), 381-391 (1998)
- 6 濾過食性二枚貝の生態特性を利用した海洋環境修復技術の開発; 門谷茂 (香川大学)・小濱剛 (香川大学)・徳永保徳・山田真知子: 環境科学会誌, 11(4), 407-420 (1998)
- 7 *Capitella* sp. 1 (イトゴカイ, 多毛類) を用いた洞海湾奥部の底質環境の修復; 堤裕昭 (熊本県立大学)・濱田建一郎・上田直子・山田真知子・藤木智子

- (熊本県立大学)・中村仁美 (香川大学)・和田育子 (熊本県立大学)・徳田貴子 (マリーンバイオ)・門谷茂 (香川大学): 環境科学会誌, 11(4), 421-429(1998)
- 8 北九州市沿岸海域の化学物質汚染とその由来; 門上希和夫・陣矢大助・岩村幸美・谷崎定二: 環境化学, 8(3), 435-453 (1998)
- 9 Photochemistry of Non-ortho Substituted PCBs by UV Irradiation in Alkaline 2-Propanol 姚元 (九州工業大学)・加藤安彦 (九州工業大学)・門上希和夫・篠原亮太; Organohalogen Compounds, 36, 381-384 (1998)
- 10 環境ホルモンと「化学物質と環境」調査; 門上希和夫: かんきょう, 4月号 (1998)
- 11 環境ホルモンと疑われている化学物質; 門上希和夫: 別冊化学 環境ホルモン&ダイオキシン
- 12 環境ホルモン物質による日本の環境汚染; 門上希和夫: 化学物質と環境, 9月号 (1998)
- 13 北九州市で発見された過剰肢カエルの発生状況と原因究明; 門上希和夫: Endocrine Disrupter News Letter, 1, 2-3 (1998)

平成 11 年度

- 1 浮遊粉じん中多環芳香族炭化水素類及びn-アルカン類分析のための超音波抽出法とソックスレー抽出法の比較; 田辺顕子 (新潟県保健環境科学研究所)・鈴木茂 (川崎市公害研究所)・花田喜文: 分析化学, 48(10)(1999)
- 2 環境ホルモンなど化学物質による日本の環境汚染状況と今後の課題; 門上希和夫: 安全工学, 38, 93-100 (1999)
- 3 過剰肢カエル発生地におけるカエル及び環境中の内分泌攪乱化学物質調査; 門上希和夫・武石全慈 (自然史博物館)・倉本満 (市環境ホルモン委員)・小野勇一 (市環境ホルモン委員): 環境化学, 10, 35-43 (2000)
- 4 同位体希釈-ガスクロマトグラフィー/質量分析法による水質及び底質中の有機スズ化合物の一斉分析; 岩村幸美・門上希和夫・陣矢大助・花田喜文・鈴木學: 分析化学, 48, 555-561 (1999)
- 5 A challenge of water purification in Dokai Bay, Japan; 柳哲雄 (九州大学)・山田真知子・鈴木學: Marine pollution Bulletin, 38(12), 1063-1069 (1999)
- 6 紫川河口域における底生動物の分布とその季節変化に影響を及ぼす環境要因について; 上田直子・堤裕昭 (熊本県立大学)・明石久見 (熊本県立大学)・林田千恵美 (熊本県立大学)・山田真知子: 日本ベントス学会誌, 54, 4-13 (1999)
- 7 洞海湾で冬季赤潮が発生しない理由; 柳哲雄 (九州大学)・山田真知子: 海の研究, 9(3), 125-132 (1999)
- 8 奇形カエルの原因究明に関する海外研修; 門上希和夫: 季刊 環境研究, 114, 102-107 (1999)
- 9 過剰肢カエルの原因究明; 門上希和夫: 月刊「水情報」2000年3月号

- 10 浄水処理工程における微量化学物質の挙動；永富孝則・武富眞・橋本昭雄・杉嶋伸祿・鈴木學：水道協会雑誌，68(783)，2-11(1999)
- 11 光触媒を用いた環境ホルモン等有害化学物質の分解；谷崎定二・門上希和夫・橋本昭雄・江口征夫・鈴木學：繊維機械学会誌，52，207-212(1999)
- 12 内分泌攪乱作用が疑われる化学物質の環境中の濃度・挙動と生態系への影響；門上希和夫：環境ホルモン汚染対策，エヌ・ティー・エス
- 13 環境ホルモンの環境への放出と環境中濃度；門上希和夫：環境ホルモンのモニタリング技術，エヌ・ティー・エス
- 14 地方公共団体における水質モニタリングー洞海湾；山田眞知子：日本の水環境行政，ぎょうせい
- 平成 12 年度
- 1 LC/MS の環境化学分析への応用ーマンネブ、ジネブ、マンゼブ（エチレンビスジチオカルバメート系農薬）の分析ー；花田喜文：全国公害研会誌，25(3)，2-28(2000)
- 2 Determination of ppt levels of atmospheric volatile organic compounds in Yakushima, remote south-west island of Japan；Minoru KOGA, Yoshifumi HANADA, Junlin ZHU, Osamu NAGAFUCHI：MICROCHEMICAL JOURNAL, 68, 257-264(2001)
- 3 生ごみ原料及び発酵過程での微生物の動向；森下正人・梨田実・藤田影清：科学技術庁プロジェクト平成 12 年度報告書
- 4 Further study on the photochemistry of non-ortho substituted PCBs by UV irradiation in alkaline 2-propanol；Yuan Yao（九州工業大学）・柿本幸司（九州工業大学）・小川博昭（九州工業大学）・加藤安彦（九州工業大学）・門上希和夫・篠原亮太：Chemosphere, 40, 951-956(2000)
- 5 Impacts of Oxygen-Deficient Water on the Macro-benthic Fauna of Dokai Bay, and on Adjacent Intertidal Flats, in Kitakyushu, Japan；上田直子・堤裕昭（熊本県立大学）・山田眞知子・花本久美（熊本県立大学）・門谷茂（香川大学）：Marine Pollution Bulletin, 40, 906-913(2000)
- 6 インドネシア都市における事業場排水対策；石川精一：用水と排水，42(8)，716-724(2000)
- 7 エチル誘導体化/ガスクロマトグラフィー/質量分析法による生物試料中の有機スズ化合物の一斉分析；岩村幸美・門上希和夫・陣矢大助・棚田京子：分析化学，49, 523-528(2000)
- 8 環境中化学物質の分析ー現状と展望ー；門上希和夫：インテリジェント材料，10(2)，16-20(2000)
- 9 奇形ガエルの原因究明；門上希和夫：環境科学会誌，13, 255-262(2000)
- 10 生態学的環境修復法による海域の環境改善；山田眞知子・鈴木學・上田直子：港湾，77, 22-25(2000)
- 11 炭酸ガスによる下水汚泥の加温浮上濃縮法；神代和幸：水，8, 42(600)，16-19(2000)
- 12 Water Quality Monitoring by Local Government, Dokai Bay；山田眞知子：Water pollution Control policy and Management：The Japanese Experience, ぎょうせい
- 13 洞海湾ー死の海から甦った 4 つの要因ー；山田眞知子：日本の水環境 7 九州沖縄編，技法堂出版
- 14 都市下水の高度処理と再利用；神代和幸：日本の水環境 7 九州沖縄編，技法堂出版
- 15 紫川の水質保全と市民運動；橋本昭雄：日本の水環境 7 九州沖縄編，技法堂出版
- 平成 13 年度
- 1 底質中の微量化学物質の分析法；花田喜文：全国環境研会誌，26(3)，161-169(2001)
- 2 LC/MS Studies on Characterization and Determination of N,N'-Ethylenebis(dithio-carbamate) Fungicides in Environmental Samples；Yoshifumi HANADA, Teizi TANIZAKI, Minoru KOGA, Hiroaki SHIRAIISHI and Mitsuyuki SOMA：Analytical Sciences, 18, 441-444(2002)
- 3 Quantive analysis of triphenylboron in environmental water samples by liquid chromatography/mass spectrometry；Yoshifumi HANADA, Teizi TANIZAKI, Minoru KOGA, Hiroaki SHIRAIISHI, and Mitsuyuki SOMA：Analytical Sciences, 18, 445-448(2002)
- 4 Application of a Pentafluorobenzyl Bromide(PFBB) Derivatization Method for Trace Levels of Halogenated Phenols in Air, Water and Sediment Samples Using Gas Chromatography/Mass Spectrometry；Yoshifumi HANADA, Iwao IMAIZUMI, Kozo KIDO, Teizi TANIZAKI, Minoru KOGA, Hiroaki SHIRAIISHI, and Mitsuyuki SOMA：Analytical Sciences, 18, 655-659(2002)
- 5 フェノール類の食品汚染実態及び摂取量に関する調査研究ー病院給食を用いたフェノール類摂取量調査ー；植田英一・川村誠二・樋口雅之・今中雅章（岡山県環境保健センター）・佐々木久美子（国立医薬品食品衛生研究所）：フタル酸エステル類及びフェノール類の食品汚染実態及び摂取量に関する調査研究報告書、国立医薬品食品衛生研究所，pp.43-67、2002
- 6 溶媒抽出、加熱脱着及びキャニスターの三捕集方法による室内空気中の揮発性有機化合物測定と比較に関する研究；安藤正典（国立医薬品食品衛生研究所）・篠原純子他：室内空気中の化学物質に関する調査研究平成：10～12 年度総合研究報告書、国立医薬品食品衛生研究所，pp.43-46、2002
- 7 居住環境中の VOC の全国調査研究；安藤正典（国立医薬品食品衛生研究所）・篠原純子他：室内空気中の

- 化学物質に関する調査研究平成:10~12年度総合研究報告書、国立医薬品食品衛生研究所、pp.113-117、2002
- 8 健康危機管理のための試験検査の開発と標準化に関する研究 一遺伝子組換え食品の検査体制の強化一；重田勲次・山本康之・木村尚志・杉田隆博（大阪市立環境科学研究所）他：地方衛生研究所の地域における健康危機管理の在り方に関する研究；平成13年度総括・分担研究報告書、福島県衛生研究所、pp.27-40、2002
 - 9 SPME-GC/MSによる水中の水溶性化学物質の一斉定量；宮崎照美（新日化環境エンジニアリング）・門上希和夫・塚本秀幸（新日化環境エンジニアリング）：分析化学、50、685-693（2001）
 - 10 Congener-specific Analysis of Polychlorinated Dibenzo-p-dioxins, Dibenzofurans, and Coplanar Polychlorinated Biphenyls in Frogs and Their Habitats, Kitakyushu, Japan；門上希和夫・武石全慈（自然史博）・倉本満（環境ホルモン委）・小野勇一（環境ホルモン委）：Environ. Toxicol. And Chem., 21, 129-137（2002）
 - 11 発光 immu 試験法の検討と底質及び土壌への適用；棚田京子・後藤純雄（国立環境研究所）・門上希和夫・平井正名（豊田中央研究所）・今枝孝夫（豊田中央研究所）・鈴木學：環境化学、11、841-848（2001）
 - 12 閉鎖性内湾ー洞海湾における化学物質の分布と挙動；陣矢大助・門上希和夫・岩村幸美・濱田建一郎・山田眞知子・柳哲雄（九州大学）：水環境学会誌、24、441-446（2001）
 - 13 炭酸ガスを用いた下水汚泥の加温浮上濃縮法に関する研究；神代和幸・江藤孝義・岡山安幸・藤崎一裕（九州工業大学）：日本下水道協会誌、138、159-166（2001）
 - 14 過栄養海域（北九州市・洞海湾）における植物プランクトン群集のサイズ組成；多田邦尚（香川大学）・濱田建一郎・門谷茂（香川大学）・山田眞知子：海と空、77（1）、9-15（2001）
 - 15 ムラサキイガイおよびコウロエンカワヒバリガイの個体群動態と過栄養域における環境との関係；小濱剛（香川大学）・門谷茂（香川大学）・梶原葉子・山田眞知子：日本水産学会誌、67（4）、664-671（2001）
 - 16 洞海湾と博多湾の富栄養化機構の比較；柳哲雄（九州大学）・山田眞知子・中嶋雅孝（九州環境管理協会）：海の研究、10（4）、275-283（2001）
 - 17 瀬戸内海・周防灘における夏季のリンの分布と生物生産環境；門谷茂（香川大学）・山口一岩（香川大学）・堤裕昭（熊本県立大学）・濱田建一郎・上田直子：沿岸海洋研究、39（2）、171-178（2002）
 - 18 Standing Stock and Production Rate of Phytoplankton and Red Tide Outbreak in Heavily Eutrophic Embayment, Doki Bay, Japan；多田邦尚（香川大学）・森下正和（香川大学）・濱田建一郎・門谷茂（香川大学）・山田眞知子：Marine Pollution Bulletin, 142（11）、1177-1186（2001）
 - 19 洞海湾今昔～その環境と生きものたち～；山田眞知子：環境問題と経済発展、九州国際大学社会文化研究所
- 平成14年度
- 1 Catalytic Photodegradation of Endocrine Disrupting Chemicals Using Titanium Dioxide Photoconductor Thin Film；T.Tanizaki, K.Kadokami, and R.Shinohara：Bull.Environ.Contam.Toxicol., 68, 732-739（2002）
 - 2 THERMO-DESORPTION ANALYSIS OF DIOXINS AND RELATED COMPOUNDS IN FLUE GAS；Takahiko Matsueda, Yoshifumi Hanada, Yuan Yao, Teiji Tanizaki, Takeshi Kuroiwa, Makoto Moriguchi, Kazuhiro Tobiishi：Organohalogen Compounds, 65, 234-238（2002）
 - 3 全国における室内空气中化学物質の実態に関する研究；大和康博・梨田実・真鍋静子・大内治郎・上野朋子（保健福祉局生活衛生課）：化学物質過敏症等室内空气中化学物質に係わる疾病と総化学物質の存在量の検討と要因解明に関する研究 平成13年度総括・分担研究報告書、国立医薬品食品衛生研究所、pp.273-288、2002
 - 4 全国の室内・外空气中化学物質とTVOCの存在状況に関する研究；安藤正典（国立医薬品食品衛生研究所）・大和康博 他：化学物質過敏症等室内空气中化学物質に係わる疾病と総化学物質の存在量の検討と要因解明に関する研究 平成13年度総括・分担研究報告書、国立医薬品食品衛生研究所、pp.531-554、2002
 - 5 室内空气中の測定対象化学物質の選定に関する研究；安藤正典（国立医薬品食品衛生研究所）・大和康博 他：化学物質過敏症等室内空气中化学物質に係わる疾病と総化学物質の存在量の検討と要因解明に関する研究 平成13年度総括・分担研究報告書、国立医薬品食品衛生研究所、pp.555-589、2002
 - 6 ムラサキイガイ養殖による洞海湾浄化の試み；鬼塚剛（九州大学）・柳哲夫（九州大学）・門谷茂（香川大学）・山田眞知子・上田直子・鈴木學：海の研究、11（3）、403-417（2002）
 - 7 過栄養海域（北九州市・洞海湾）における表層水中の細菌分布；多田邦尚（香川大学）・森下政和（香川大学）・門谷茂（香川大学）・濱田建一郎・山田眞知子：海と空、78（1）、1-6（2002）
 - 8 Catalytic Photodegradation of Endocrine Disrupting Chemicals Using Titanium Dioxide Photoconductor Thin Films；谷崎定二・門上希和夫・篠原亮太（熊本県立大学）：Bull. Environ. Contam. Toxicol., 68, 732-739（2002）
 - 9 北九州市沿岸海域の化学物質汚染と生態リスク比；門上希和夫・陣矢大助・岩村幸美：全国環境研会誌、27、187-194（2002）
 - 10 Environmental Surveys of Toxic Chemicals in Aquatic Environments in Japan；門上希和夫・平木利一（環境省）・丈達泰史（環境省）：Lakes &

Reservoirs: Research and Management 2002, 7,
309-315 (2002)

- 11 表流水汚染のモニタリング, 水系汚染の調査方法 ;
門上希和夫 : 地球環境調査計測事典 第 2 巻陸域編 2,
フジ・テクノシステム